Canon
キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90005

受付時間：平日 9:00～20:00
土・日・祝日 10:00～17:00
(1月1日～1月3日は休ませていただきます)

※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9630をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙でご確認ください。

キヤノンデジタルカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

キヤノン株式会社
http://canon.jp/bebit/

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デジタルカメラ製品情報
http://canon.jp/dc/

キヤノンサポートページ
http://canon.jp/support/

CANON iMAGE GATEWAY
http://www.imagegateway.net/

CDI-J291-010 PRINTED IN MALAYSIA

Canon キヤノンデジタルカメラ PowerShot A550 カメラユーザーガイド 応用編

Canon

キヤノンデジタルカメラ
PowerShot A550

応用編

カメラユーザーガイド

本書ではカメラの機能や使いかたを詳細に説明しています。

Exif Print DPOF

主な特長

撮影

- 高感度 ISO 設定で手ぶれや被写体ぶれを抑えて撮影
- シーンに合わせて撮影条件を自動設定
- SI センサーでカメラの縦横位置を自動的に判別

再生

- 音声つき動画再生
- オートプレイで自動再生

編集

- 静止画に音声メモを記録

印刷

- イージーダイレクトボタンで簡単印刷
- キヤノン製以外の PictBridge 対応プリンターでも印刷

撮影した画像の活用

- イージーダイレクトボタンで簡単にパソコンへ転送
- オンラインフォトサービス「CANON iMAGE GATEWAY」で、オリジナルアルバムの作成、公開

このガイドの表記について

見出しの横または下にあるマークは、この操作が行える撮影モードを表しています。

撮影 / 再生モード

L判プリントモードに設定する

撮影モード AUTO SCN M

・グレー表示の撮影モードでは操作できません。

●巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

：カメラを正しく動作させるための注意や制限を記載しています。

：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

このカメラでは、SD メモリーカード、SDHC メモリーカードとマルチメディアカードをお使いになれます。このガイドでは、これらをメモリーカードと表記します。

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。
なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

目次

☆のページでは、このカメラの機能や操作をまとめて記載しています。

取り扱い上のご注意

必ずお読みください

試し撮り

必ず事前に試し撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。
万一、このカメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みがされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたがこのカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

保証について

このカメラの保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行先で、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内の「お客様相談センター」にご相談ください。

ご注意

本体温度について

このカメラは、電源を入れたあと長時間お使いになっていると、本体温度が高くなることがありますが、故障ではありません。

液晶モニターについて

液晶モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。

安全上のご注意

- ご使用前に本書、および基本編の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 本機器：カメラ、電池、バッテリーチャージャー（別売）、コンパクトパワーアダプター（別売）

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負う可能性があることを示します。

△記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。

⃠記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。（左図：分解禁止）

●記号は、必ず守っていただきたいことがらを示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

⚠警告

本機器

●**カメラのファインダーを通して太陽や強い光源を直接見ないでください。また、カメラを太陽や強い光源に向けないでください。**

視力障害やカメラの故障の原因となります。

●**お子様や幼児の手の届かないところに保管してください。**

・リストストラップ：誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

・メモリーカード：誤って飲み込むと危険です。
万一､飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

●**分解、改造しないでください。**

●**落下などで、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。**

●**煙が出ている、焦げ臭いなどの異常状態のまま使用しないでください。**

●**内部に水などを入れたり、濡らしたりしないでください。水滴がかかったり、潮風にさらされたときは、吸水性のあるやわらかい布で拭いてください。**

火災、感電の原因となります。

機器本体の電源を切り、その後必ず電池を外すか、バッテリーチャージャーあるいはコンパクトパワーアダプターをコンセントから抜き、お買い上げになった販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

●アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤で手入れしないでください。

●電源コードに重いものを載せたり、傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。

●本機器専用以外の電源は使用しないでください。

●電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

火災や感電の原因となります。

電池

●火に近付けたり、火の中に投げ込まないでください。

●水や海水に濡らさないでください。

●分解、改造したり、加熱しないでください。

●落とすなどして強い衝撃を与えないでください。

●指定外の電池を使用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。万一、電解液が漏れ、衣服、皮膚、目、口についたときは、ただちに洗い流してください。

●バッテリーチャージャー、コンパクトパワーアダプターは、充電終了後および使用しないときは、カメラと電源コンセントの両方から外してください。

●テーブルクロス、じゅうたん、布団、クッションなどをかけたまま充電しないでください。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となります。

●キヤノン製の単３形ニッケル水素電池を充電する場合は、指定されたバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。

●コンパクトパワーアダプターの出力端子は本機器専用です。他の製品には、お使いにならないでください。

発熱、変形して、火災、感電の原因となります。

●廃却する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。

廃却の際、他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となります。

その他

●ストロボを人の目に近付けて発光しないでください。

特に、乳幼児を撮影するときは 1m 以上離れてください。視力障害の原因となります。

●カメラのスピーカーに磁気の影響を受けやすいもの（クレジットカードなど）を近付けないでください。

それらのデータが壊れて、使用できなくなることがあります。

⚠注意

本機器

●リストストラップで下げているときは、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えないでください。

けがや本体の故障の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。

●電源プラグや充電端子部に金属製のピンやゴミを付着させないでください。

火災、感電、故障の原因となることがあります。

●直射日光のあたる場所、および車のトランクやダッシュボードなどの高温になるところで使用・保管しないでください。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしないでください。また、電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みが不十分なまま使用しないでください。

●風通しの悪いところで使用しないでください。

液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。また、機器外装が熱により変形することがあります。

●使用しないときは、電池を取り出し､保存してください。

カメラに、電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。

ストロボ

●発光部分にゴミやほこりなど異物がついたまま発光しないでください。

●発光部分を手や布などで覆ったまま発光しないでください。

煙や音が出て、故障の原因となったり、発熱によりストロボ発光部分の損傷の原因となることがあります。

●連続発光後、発光部分に触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

故障を防ぐためのご注意

電磁波による誤作動、破壊を防ぐために

●カメラをモーターや強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像のデータが破壊されることがあります。

結露を防ぐために

●カメラを寒い場所から暑い場所に移すときは、結露の発生を防ぐために、カメラをビニール袋に入れて密封しておき、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

カメラを寒い場所から急に暑い場所に移すと、カメラの外部や内部に結露（水滴）が発生することがあります。

結露が発生したときは

●カメラを使用しないでください。

故障の原因になります。
カメラを使う場合は、メモリーカード、電池、コンパクトパワーアダプターをカメラから取り外し、水滴が消えるまでお待ちください。

ご使用の前に - 基本操作

液晶モニターの使いかた

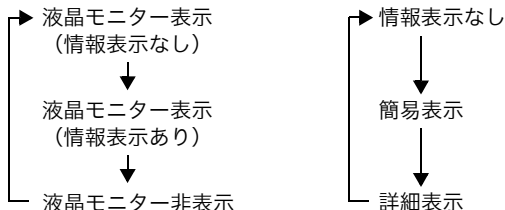
1 **DISP. を押す**

- DISP. ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

撮影モードのとき（カメラ）

液晶モニター表示（情報表示なし）
↓
液晶モニター表示（情報表示あり）
↓
液晶モニター非表示

再生モードのとき（▶）

情報表示なし
↓
簡易表示
↓
詳細表示

- 撮影の設定を変更したときは、液晶モニター設定に関係なく約6秒間撮影情報が表示されます。

- 液晶モニターの表示/非表示の設定は、電源を切っても保持されます。
- 動画のとき、液晶モニターは消せません。
- インデックス再生時（p. 55）は、詳細表示に切り換わりません。

「ナイトビュー」機能について

暗い場所での撮影時は、被写体の明るさに合わせて、カメラが自動的に液晶モニターに表示される画像の明るさを調節するため*、暗い場所でも画角合わせがしやすくなります。

*液晶モニターにノイズが表示されたり、表示される被写体の動きがややぎこちなくなることがありますが、記録される画像に影響はありません。なお、液晶モニターに表示される画像の明るさと、実際に撮影される画像の明るさは異なります。

液晶モニターに表示される情報

撮影情報(撮影モードのとき)

デジタルテレコン(p. 27)

ズーム倍率(p. 27)

セーフティズーム(p. 27)

[ ]スポット測光枠(p. 41)

AF 枠(p. 36)

マクロモード(基本編 p. 16)

ISO 80 … ISO 1600 *1 ISO 感度(p. 48)

バッテリー残量低下(p. 85)

ストロボ(基本編 p. 14)

ドライブモード(p. 30、基本編 p. 17)

縦横自動回転(p. 49)

●録画 動画撮影(p. 33)

3:2 ガイド(p. 32)

グリッドライン(p. 32)

撮影モード

(基本編 p. 11 ~ 13)

(p. 33)

-2 … +2 露出補正(p. 41)

1" … 15" 長秒時撮影(p. 42)

ホワイトバランス(p. 43)

マイカラー(p. 46)

測光方式(p. 40)

圧縮率(静止画)(p. 27)

フレームレート(動画)(p. 36)

L M1 M2 M3 S W 640 320 160 記録画素数(p. 26、36)

(赤)*2手ぶれ警告(p. 14)

フォルダ作成通知(p. 50)

AFL AF ロック(p. 38)

AEL AE ロック(p. 39)

FEL FE ロック(p. 40)

・静止画:記録可能画像数
・動画:記録可能時間 / 記録時間

露出シフトバー(動画)(p. 35)

ストロボ*2/
シャッタースピード*1 (p. 98)/
絞り数値*1

*1 シャッターボタンを半押しすると表示されます。ただし、ストロボ発光時はカメラが自動的に最適条件を再設定するため、再生情報の表示と異なる場合があります。

*2 シャッターボタンを半押しすると表示されます。

- ランプが橙色に点滅し、手ぶれ警告アイコン（ ）が表示された場合は、光量不足でシャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。以下の方法で撮影してください。
  - ISO 感度を上げる（p. 48）
  - ストロボを （発光禁止）以外に設定する
  - 三脚などでカメラを固定する

再生情報（再生モードのとき）

■簡易表示

WAVE タイプの音声（p. 59）

フォルダ番号 - 画像番号

100-7000

13/13　L　'07/02/02 10:00

撮影日時

プロテクト情報（p. 61）

圧縮率（静止画）（p. 27）

L M1 M2 M3 S W

記録画素数（静止画）（p. 26）

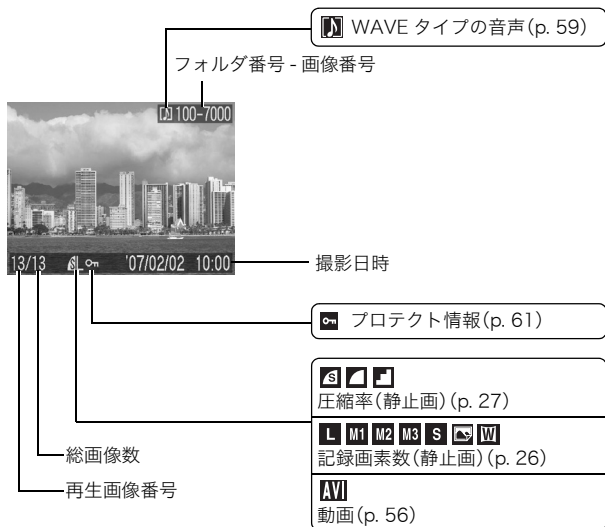
総画像数

AVI

再生画像番号

動画（p. 56）

■詳細表示

- シャッタースピード（p. 98）
- 絞り数値
- 撮影モード（基本編 p. 11 ～ 13）
- -2 … +2 露出補正（p. 41）
- ホワイトバランス（p. 43）
- マイカラー(p. 46)

- ISO 80 … ISO 800 ISO 感度（p. 48）
- 640 320 160 L60 L30 L15 記録画素数 / フレームレート(動画) (p. 36) 記録時間（動画）（p. 36）
- マクロモード（基本編 p. 16）
- 測光方式（p. 40）
- 記録画素数（静止画）（p. 26）

画像によっては、以下の情報を表示することがあります。

	WAVE タイプ以外の音声ファイル、または、認識できないファイルがついています。
	DCF(p. 99)の規格と異なる構造を持つ JPEG タイプです。
RAW	RAW タイプです。
?	認識できないタイプです。

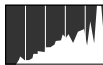
● 他のカメラで撮影した画像は、情報が正しく表示されないことがあります。

ヒストグラムについて

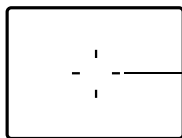
ヒストグラムは、画像の明るさを判断するためのグラフです。グラフが左に寄るほど暗い画像になり、右に寄るほど明るい画像になります。暗いほうに偏っているときは、露出をプラス側に補正し、明るいときはマイナス側に補正して撮影します（p. 41）。

ヒストグラム例

暗い画像

普通の明るさの画像

明るい画像

ファインダーの使いかた

液晶モニターを非表示にし（p. 12）、ファインダー（基本編 p. 2）を使って撮影すると消費電力を抑えることができます。

ファインダー

節電機能について

このカメラには、節電機能がついています。
次のようなときに電源が切れます。再度電源スイッチを押すと復帰します。

撮影時	約3分間、何も操作しないとき。節電機能が[切]でも、液晶モニターを表示して約1分間*何も操作しないと液晶モニターが消えます(電源スイッチ以外のボタンを押すか、またはカメラの縦・横の向きを変えるとつきます)。
再生時 プリンター接続時	約5分間、カメラの操作を何もしないとき

*時間を変更できます。

- オートプレイで自動再生中およびパソコン接続時は、節電機能は働きません。
- 節電機能の設定を変更できます（p. 23）。

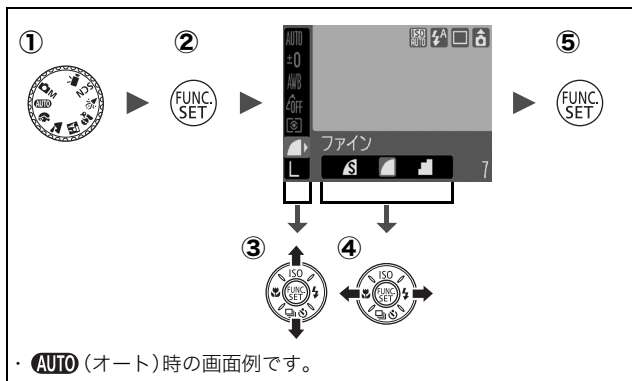
メニューの表示と設定のしかた

撮影時や再生時の設定や、印刷の設定、日付 / 時刻、電子音などのカメラの設定は、メニューを使って設定します。次のメニューがあります。

- FUNC. メニュー
- **撮影 / 再生 / 印刷 / 設定メニュー**

FUNC. メニュー

撮影時に、よく使う機能を設定します。

・AUTO（オート）時の画面例です。

①撮影モードダイヤルを撮影したいモードに合わせる

② FUNC./SET ボタンを押す

③ ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、選択できないメニュー項目があります。

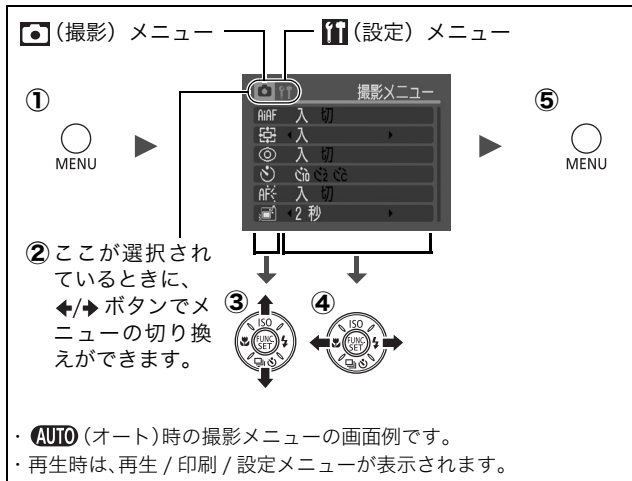
④ ◀/▶ ボタンで設定内容を選ぶ

・設定項目によっては、MENU ボタンでさらに変更できます。

・選択後、シャッターボタンを押してすぐに撮影できます。撮影後は、再びこの画面が表示され、設定を変更できます。

⑤ FUNC./SET ボタンを押す

撮影 / 再生 / 印刷 / 設定メニュー

撮影 / 再生 / 印刷時の便利な機能を設定します。

① MENU ボタンを押す

② ←/→ ボタンでメニューを切り換える

・ズームレバーでもメニューの切り換えができます。

③ ↑/↓ ボタンでメニュー項目を選ぶ

・撮影モードによって、表示されるメニュー項目が異なります。

④ ←/→ ボタンで設定内容を選ぶ

・「...」のある項目では、FUNC./SET ボタンを押して次のメニューを表示してから設定します。設定後、再度 FUNC./SET ボタンを押して設定内容を確定します。

⑤ MENU ボタンを押す

メニュー一覧

巻末の「各撮影モードで設定できる機能一覧」もご覧ください。

FUNC. メニュー

ここに表示されているアイコンは、初期設定を表します。

項目		参照先
	スペシャルシーンモード	基本編p. 12
	動画撮影モード	p. 33
±0	露出補正	p. 41
	長秒時撮影	p. 42
AWB	ホワイトバランス	p. 43
OFF	マイカラー	p. 46
	測光方式	p. 40
	圧縮率(静止画)	p. 26
30	フレームレート(動画)	p. 35
L	記録画素数(静止画)	p. 26
640	記録画素数(動画)	p. 35

撮影メニュー（）

＊初期設定

項目		選択項目	参照先
	AiAF	入＊ / 切	p. 36
	デジタルズーム		p. 27
	（静止画）	入＊ / 切 / テレコン 1.5x/ テレコン 1.9x	
	（動画）	入＊ / 切（スタンダードモードのみ）	
	スローシンクロ	入 / 切＊	基本編 p. 15
	赤目緩和機能	入＊ / 切	基本編 p. 15
	セルフタイマー	＊ / /	基本編 p. 17
	（カスタム）	時間：1 ～ 10 ＊、15、20、30 秒 枚数：1 ～ 3 ＊～ 10 枚	
	AF 補助光	入＊ / 切	－
	撮影の確認	切 /2 秒＊～ 10 秒 / ホールド	基本編 p. 10
	撮影ガイド		p. 32
	（静止画）	切＊ / グリッドライン /3：2 ガイド / 両方	
	（動画）	切＊ / グリッドライン	
	日付写し込み	切＊ / 日付のみ / 日付＋時刻	p. 31

再生メニュー（）

項目	参照先
オートプレイ	p. 60
音声メモ	p. 59
プロテクト	p. 61
回転	p. 58
全消去	p. 63
送信指定	p. 67

印刷メニュー（）

項目	参照先
印刷	p. 64
印刷する画像を指定	
すべての画像を指定	
すべての指定を解除	
印刷の設定	

設定メニュー( )

＊初期設定

項目	選択項目	内容 / 参照先
消音	入 / 切＊	[入]にすると、警告時以外はすべて鳴りません(基本編 p. 9)。
音量	切 / 1 / 2＊ / 3 / 4 / 5	起動音、操作音、セルフタイマー音、シャッター音、再生音の音量を調節します。ただし、[消音]が[入]になっていると設定できません。
起動音量		カメラ起動時の音量を調節します。
操作音量		シャッターボタン以外のボタンを操作したときの音量を調節します。
セルフタイマー音		撮影の 2 秒前から撮影するまでのセルフタイマー音の音量を調節します。
シャッター音量		シャッターボタンを全押ししたときの音量を調節します。動画撮影時には、シャッター音は鳴りません。
再生音量		動画再生時、または音声メモの音量を調節します。
起動画面	入＊ / 切	電源を入れたときに、起動画面を表示するかどうかを設定します。

項目	選択項目	内容 / 参照先
節電		p. 17
オートパワーオフ	入* / 切	一定時間カメラの操作をしないときに、自動的に電源を切るかどうかを設定します。
ディスプレイオフ	10秒/20秒/30秒/1 分* /2 分 /3 分	カメラの操作をしないときに、自動的に液晶モニターを消す時間を設定します。
日付 / 時刻		基本編 p. 8
カードの初期化		物理フォーマットも設定できます(p. 25)。
画像番号	通し番号* / オートリセット	p. 52
フォルダ作成		p. 50
新規作成	チェックをつけると設定できます。	次の撮影時にフォルダを作成します。
自動作成	切* / 毎日 / 月曜〜日曜 / 毎月	自動で作成する時間も設定できます。
縦横自動回転	入* / 切	p. 49
レンズ収納時間	1 分* / 0 秒	撮影モードから再生モードに切り換えたときのレンズの収納タイミングを設定します。
言語		基本編 p. 8
ビデオ出力方式	NTSC * / PAL	p. 97
印刷接続方式	自動* /	下記参照*1
初期設定		p. 24

＊1 プリンターとの接続方式を変更できます。通常、設定を変更する必要はありませんが、(ワイド)で撮影した画像を、キヤノンコンパクトフォトプリンター SELPHY CP730/CP720/CP710/CP510 でワイドサイズ用紙全面に印刷するときは、を選択してください。この設定は電源を切っても記憶されますので、以外の画像サイズを印刷するときは、[自動]に戻してください(ただしプリンター接続中は変更できません)。

設定を初期状態に戻す

1 (設定)メニュー▶ (初期設定)

メニュー操作 (p. 19)

2 [OK]を選び、(FUNC. SET)を押す

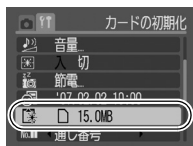
- パソコン接続時、プリンター接続時は初期状態に戻せません。
- 以下の設定は、初期状態に戻りません。
  - 撮影モード
  - [(設定)]メニューの(日付/時刻)、(言語)、(ビデオ出力方式)の設定 (p. 23、p. 23)
  - マニュアルホワイトバランスで記憶した白データ (p. 44)

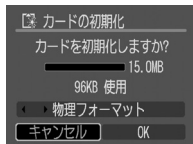
メモリーカードを初期化する

新しいメモリーカードをお使いになるときや、メモリーカード内の画像だけでなく他のデータもすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化します。

● 初期化すると、メモリーカードに記録された画像（プロテクト画像も含む）だけでなく、すべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

1 （設定）メニュー ▶ （カードの初期化）

メニュー操作（p. 19）

2 [OK]を選び、FUNC./SETを押す

- 物理フォーマットをする場合は、▲ ボタンで［物理フォーマット］を選び、◀/▶ ボタンでチェックをつけます。
- 物理フォーマットの場合、初期化中に FUNC./SET ボタンを押すと、中止できます。中止した場合でも、そのメモリーカードは問題なくお使いになれますが、データはすべて消去されます。

● 物理フォーマットについて
メモリーカードへの記録 / 読み出し速度が低下したと思われる場合などは、［物理フォーマット］を選択することをおすすめします。なお、メモリーカードによっては、物理フォーマットに 2 〜 3 分かかる場合があります。

記録画素数と圧縮率を変更する（静止画）

撮影モード

1 FUNC.メニュー ▶ *（圧縮率）/ L *（記録画素数）

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンで圧縮率/記録画素数を選び、FUNC./SETボタンを押します。

記録画素数を選ぶときの目安

記録画素数			用途
L ラージ	3072 × 2304 画素	大きい	A3 サイズ程度に印刷するとき
M1 ミドル 1	2592 × 1944 画素	↑	A4 サイズ程度に印刷するとき
M2 ミドル 2	2048 × 1536 画素		A5 サイズ程度に印刷するとき
M3 ミドル 3	1600 × 1200 画素	↓	L判やはがきサイズに印刷するとき
S スモール	640 × 480 画素	小さい	電子メールで画像を送るとき、またはより多くの画像を撮影するとき
L判プリント	1600 × 1200 画素	L判やはがきサイズに印刷するとき（p. 31）	
W ワイド	3072 × 1728 画素	ワイドサイズの用紙に印刷するとき（縦横比 16:9 の画像を記録できます。記録されない領域は液晶モニター上に黒帯が表示されます。）	

圧縮率を選ぶときの目安

圧縮率		用途
S スーパーファイン	きれい	より良い画質で撮影するとき
ファイン	↕	通常の撮影をするとき
ノーマル	普通	より多くの画像を撮影するとき

- 1画像の容量（目安）（p. 103）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間（目安）（p. 102、p. 103）

デジタルズーム/デジタルテレコンで撮る

撮影モード	AUTO 各モード SCN ＊ M

＊ のみ設定できます。ただし、デジタルテレコンは設定できません。

光学ズームと組み合わせて撮影できます。
焦点距離（35mm フィルム換算）と特長は次のとおりです。

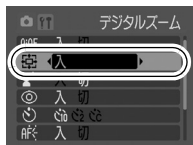
選択項目	焦点距離	特長
入	35 ～ 560mm	光学ズームとデジタルズームの組み合わせで、最大約 16 倍に拡大して撮影できます。
切	35 ～ 140mm	デジタルズームを使わずに撮影します。
テレコン 1.5x	52.5～210mm	デジタルズームが選択項目の倍率に固定され、焦点距離が望遠側に移動します。 同じ画角の撮影では、[入] や [切] のときに比べ、より速いシャッタースピードが利用でき、手ぶれしにくくなります。
テレコン 1.9x	66.5～266mm	

- 液晶モニターが消えているときは、設定できません。
- ・（L判プリント）、（ワイド）のときは、設定できません。

1 （撮影）メニュー ▶ （デジタルズーム）▶ [入]*/[切]/[テレコン1.5x]/[テレコン1.9x]

メニュー操作（p. 19）

＊初期設定

- ［入］のとき
  「デジタルズームで撮る」（p. 28）をご覧ください。
- ［テレコン 1.5x］、［テレコン 1.9x］のとき
  「デジタルテレコンで撮る」（p. 29）をご覧ください。

デジタルズームで撮る

2 ズームレバーを側に押し、撮影する

- 液晶モニターに、光学ズームとデジタルズームを組み合わせた倍率が表示されます。
- 設定された記録画素数に応じて、画質が粗くならない最大のズーム倍率でいったん停止し（セーフティズーム）、液晶モニターにが表示されます。
  再度、側へ押すと、さらに拡大できます。このときズーム倍率の表示色は、次のとおりです。
  - 白色：画像は粗くなりません。
  - 青色：画像が粗くなります。
- 側へ押すと、倍率が下がります。

2 ズームレバーで画角を調節し、撮影する

- 液晶モニターに T と倍率が表示されます。
- 記録画素数によっては、画質が粗くなります（T と倍率が青色で表示されます）。

デジタルテレコンについて

デジタルズームを使って、テレコンバーター(望遠撮影するためのレンズ)の機能を実現したものが、デジタルテレコンです。

連続して撮る

撮影モード

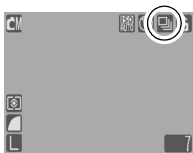
シャッターボタンを全押ししている間、連続して撮影できます。なお、推奨メモリーカード＊2 をお使いの場合は、一定の撮影間隔でメモリーカードの容量がいっぱいになるまで連続して撮影（スムーズ連写）できます（p. 102、p. 103）。

＊2 **推奨メモリーカード：**
撮影の直前に物理フォーマット（p. 25）を行った超高速のSDC-512MSH（別売）

・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。
・連続撮影が中断したときに、メモリーカードの容量が余る場合があります。

1 ボタンを押して切り換える

● ボタンを押すたびに設定が変わります。

＊初期設定

2 撮影する

● シャッターボタンを全押ししている間は、撮影が続きます。シャッターボタンを放すと、撮影が終了します。

解除のしかた：手順 1 で を表示する

● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると、撮影間隔が長くなります。
● ストロボが発光する場合には、ストロボの充電時間が必要なため、撮影間隔が長くなります。

L判プリントモードに設定する

撮影モード AUTO SCN M

液晶モニターで印刷範囲（縦横比　約 3：2）を確認しながら、「L判」や「はがき」サイズの印刷に最適な撮影ができます。

1 **FUNC.メニュー ▶ L*（記録画素数）▶ （L判プリント）**

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- 記録画素数は M3（1600 × 1200）、圧縮率は（ファイン）になります。
- 印刷されない領域がグレーになります。

- デジタルズームやデジタルテレコンは使用できません。

- 印刷については、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

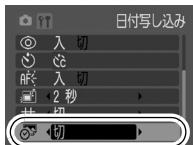
画像に日付を写し込む

（L 判プリント）のとき、画像に日付を写し込むことができます。

1 **（撮影）メニュー ▶ （日付写し込み）▶［切］* /［日付のみ］/［日付＋時刻］**

メニュー操作（p. 19）

＊初期設定

- 液晶モニターの表示
  - ：［切］
  - ：［日付のみ］／［日付+時刻］

- あらかじめカメラの日付/時刻が正しく設定されていることを確認してください（p. 23)。
- 画像に写し込んだ日付は削除できません。

撮影ガイドを設定する

撮影モード　AUTO SCN *1 M

＊1 グリッドラインのみ設定できます。

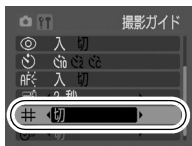
被写体の水平や垂直、縦横比3：2の印刷範囲を液晶モニターで確認しながら撮影できます。

グリッドライン	画面を9分割したラインを表示します。 被写体の水平や垂直を確認できます。
3:2ガイド	縦横比3:2で印刷できる範囲を確認できます＊2。印刷されない領域はグレーになります。
両方	グリッドラインと 3:2 ガイドの両方を同時に表示できます。

＊2 記録される画像の縦横比は通常画面と同じ4：3となります。

1 **(撮影)メニュー▶(撮影ガイド)▶[切]＊ /[グリッドライン]/[3:2ガイド]/[両方]**

メニュー操作（p. 19）

＊初期設定

- グリッドラインや3：2ガイドは画像には記録されません。

動画を撮る

撮影モード AUTO SCN M

動画撮影には、次のモードがあります。
各モードの記録画素数とフレームレートについては、「記録画素数とフレームレートについて」(p. 36)をご覧ください。

スタンダード	
	記録画素数やフレームレートを選び、メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます(超高速のメモリーカード使用時(推奨メモリーカード:SDC-512MSH))。 また、撮影中にデジタルズームが使えます(p. 27)。
	・1 回の最大記録容量:1GB *
スムーズ	
	スポーツなどの速い動きの撮影に使います。
	・1 回の最長記録時間:1 分
ライト	
	記録画素数が小さく容量が少ないため、メールに添付したり、メモリーカードの容量が少ないときなどに使うと便利です。
	・1 回の最長記録時間:3 分

- 記録可能時間は、お使いのメモリーカードによって異なります(p. 103)。

*記録容量が 1GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、1GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。

1 FUNC.メニュー▶ *(スタンダード)

メニュー操作(p. 18)

＊初期設定

- ◀/▶ボタンで動画モードを選び、FUNC./SETボタンを押します。
- の場合は、記録画素数やフレームレート(p. 35)を変更できます。

2 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、露出、フォーカス、ホワイトバランスを自動設定します。
- シャッターボタンを全押しすると撮影が開始され、同時に音声も記録されます。
- 撮影中は、液晶モニターに撮影時間と[●録画]が表示されます。
- 再度シャッターボタンを全押しすると、撮影が終了します。なお、以下の場合は自動的に撮影が終了します。
  - 最長記録時間を経過したとき
  - カメラ内部のメモリーやメモリーカードの容量がいっぱいになったとき

- 動画を撮影するときは、このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください(p. 25)。付属のメモリーカードはそのままお使いになれます。
- 撮影中は、次のことに注意してください。
  - マイク(基本編 p. 1)に触れないでください。
  - シャッターボタン以外のボタンを押すと、ボタンを押す音も記録されてしまいます。
  - 撮影状況に応じて、カメラが自動的に適切な露出、ホワイトバランスを調整します。カメラが自動的に露出を調整する音が、一緒に記録される場合もあります。
- フォーカス、光学ズームは、撮影を開始したとき(最初のフレーム)の設定値に固定されます。
- カメラを太陽に向けて、撮影しないでください。

- 撮影前に、AE ロック（p. 39）と露出シフトができます。
  1 ISO ボタンを押す
  露出が固定（AE ロック）し、液晶モニターに露出シフトバーが表示されます。
  2 ←/→ で露出を変更する
  もう一度、ISO ボタンを押すと解除できます。
  また、MENU ボタンを押したり、ホワイトバランス、マイカラー、撮影モードを変更すると解除されます。
- 動画（タイプ：AVI、圧縮方法：Motion JPEG）をパソコンで再生するには、QuickTime が必要です（Windows 2000 のみ）。

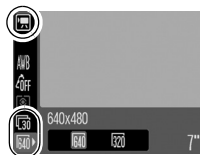
記録画素数とフレームレートを変更する（動画）

動画撮影モードが、（スタンダード）のとき、記録画素数やフレームレートを変更できます。

1 **FUNC.メニュー▶ ＊（フレームレート）/ ＊（記録画素数）**

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- ←/→ ボタンでフレームレート/記録画素数を選び、FUNC./SETボタンを押します。

記録画素数とフレームレートについて

フレームレートは、1 秒間に撮影 / 再生するフレーム数を表します。フレームレートが高いほど滑らかな動きになります。

	記録画素数	フレームレート		
		60 フレーム / 秒	30 フレーム / 秒	15 フレーム / 秒
スタンダード	640 × 480 画素	–	○*1	○
	320 × 240 画素	–	○	○
スムーズ*2	320 × 240 画素	○	–	–
ライト*2	160 × 120 画素	–	–	○

＊ 1 初期設定

＊ 2 記録画素数とフレームレートは固定です。

- 1 画像の容量（目安）（p. 104）
- メモリーカードの種類と記録可能画像数/時間（目安）（p. 103）

AF枠を選択する

撮影モード	AUTO SCN* M

＊ では設定できません。

オートフォーカス枠（AF 枠）はピントを合わせるための枠です。以下のように AF 枠を選択できます。

□□□ □□□ □□□	入	撮影状況に応じて、9 つの AF 枠の中からカメラが自動的に AF 枠を選択してピントを合わせます。
□□□ □■□ □□□	切	中央の AF 枠だけが有効になります。狙った被写体に確実にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。

1 (撮影)メニュー ▶ AiAF (AiAF) ▶ [入]*/[切]

メニュー操作（p. 19）

＊初期設定

- 液晶モニターがついているときに、シャッターボタンを半押しすると、AF 枠の表示は、次のようになります。
  - 緑色：撮影準備完了
  - 黄色：ピントが合いにくいとき（AiAF が［切］のとき）
  - 非表示：ピントが合いにくいとき（AiAF が［入］のとき）

ピントが合いにくい被写体を撮る(フォーカスロック、AFロック)

撮影モード AUTO SCN* M

＊ では操作できません。

次のような被写体は、ピントが合わないことがあります。

- **コントラストが極端に低い被写体**
- **近いものと遠いものが混在する被写体**
- **画像中央部が極端に明るい被写体**
- **高速で移動する被写体**
- **ガラス越しの被写体：できるだけガラスに近寄り、反射による写り込みのない状態で撮影してください。**

フォーカスロックで撮る

1	ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、ファインダーの中央または液晶モニターの AF 枠に収める
2	シャッターボタンを半押しし、ピントを合わせる
3	そのままカメラの向きを変えて構図を決め、シャッターボタンを全押しする

AF ロックで撮る

＊ M、 のみ操作できます。

1	液晶モニターをつける
2	ピントを合わせたい被写体と同じ撮影距離の異なる被写体を、AF枠に収める
3	シャッターボタンを半押ししながら、ボタンを押す ● AFL が表示されます。
4	カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ボタンを押す

- 液晶モニターを使って、フォーカスロックまたは AF ロック撮影をする場合、あらかじめ（撮影）メニューで（AiAF）を［切］に設定しておくと（p. 36）、中央の AF 枠1点だけが有効になるので、撮影しやすくなります。ただし、では、AF 枠は表示されません。
- AF ロックは、シャッターボタンを放して構図を決められるので便利です。また、撮影後も AF ロックされたままなので、同じピントですぐに次の撮影ができます。

露出を固定して撮る（AEロック）

撮影モード　AUTO SCN M

露出とピントを別々に決めて撮影できます。被写体と背景のコントラストが極端に強いときや、逆光下での撮影などに有効です。

- ストロボは必ずに設定し、ストロボを発光させないでください。ストロボが発光すると、AE ロックできません。

1 **液晶モニターをつける**

2 **露出を固定したい被写体にピントを合わせる**

3 **シャッターボタンを半押ししながら、ISO ボタンを押す**

- AEL が表示されます。

4 **カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する**

解除のしかた：ISO ボタンを押す

- のときも、AE ロックの設定 / 解除ができます（p. 35）。
- ストロボをお使いのときは FE ロック（p. 40）で撮影してください。

FEロックで撮る

撮影モード　AUTO SCN M

被写体が構図のどこにあっても、適正な露出でストロボ撮影ができます。

1 液晶モニターをつける

2 ボタンを押して、(常時発光)を選ぶ

3 露出を固定したい被写体にピントを合わせる

4 シャッターボタンを半押ししながら、ISO ボタンを押す

- ストロボがプリ発光し、FEL が表示されます。

5 カメラの向きを変えて構図を決め、撮影する

解除のしかた：ISO ボタンを押す

測光方式を切り換える

撮影モード　AUTO SCN M

1 FUNC.メニュー ▶ *(評価測光)

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンで測光方式を選び、FUNC./SETボタンを押します。

測光方式の種類

	評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。 画面内を多分割して測光します。画面内の被写体の位置、明るさ、順光、逆光など複雑な光の要素をカメラが判断し、主被写体を常に適正な露出で撮影します。
	中央部重点平均測光	画面中央部の被写体に重点を置きながら、画面全体を平均的に測光します。
	スポット測光	液晶モニター中央部の「スポット測光枠」内を測光します。 画面中央の被写体に露出を合わせたいときに利用します。

- 長秒時設定で撮影するときは、評価測光に固定されます。

露出を補正する

撮影モード AUTO SCN M

逆光や背景が明るい場所での撮影で、被写体が暗くなってしまう場合は＋側に、夜景や背景が暗い場所での撮影で被写体が明るくなってしまう場合は－側に、露出を補正します。

1 液晶モニターをつける

2 FUNC.メニュー▶ ±0 *（露出補正）

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- ←/→ ボタンで露出を補正し、FUNC./SETボタンを押します。

解除のしかた：手順 2 で補正値を「0」に戻す

● のときは露出シフトの設定 / 解除ができます（p. 35）。

シャッタースピードを設定する（長秒時撮影）

撮影モード　AUTO SCN M

暗い被写体を明るく撮影したいときは、シャッタースピードを遅くして、撮影できます。

1 FUNC.メニュー ▶ ±0 *（露出補正）▶ MENU

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

2 ←/→ ボタンでシャッタースピードを選ぶ ▶ FUNC. SET

- 数値が大きいほど明るくなり、数値が小さいほど暗くなります。
- このとき、MENUボタンを押すと、露出補正の設定画面に戻ります。

- 電源を切ると、設定は解除されます。
- シャッタースピードが遅くなると、CCD の特性により撮影した画像にノイズが増えますが、シャッタースピードが 1.3 秒以上のときに、このノイズを除去する処理を行い、高画質が得られます（ただし、次の撮影までにしばらく時間がかかります）。

- 意図した明るさで撮影されているかは、液晶モニターで確認してください。
- シャッタースピードが遅くなるので、手ぶれしやすくなります。三脚を使って撮影してください。
- ストロボを発光すると、露出オーバーになることがあります。その場合はストロボを⊛にして撮影してください。
- 長秒時設定で撮影するときは、次の設定ができません。
  ・露出補正　・測光方式　・AE ロック
  ・FE ロック　・ISO 感度［ISO AUTO］［ISO HI］
  ・ストロボ［⚡A］　・スローシンクロ

色合いを調整する（ホワイトバランス）

撮影モード AUTO SCN M

通常は、AWB（オート）で最適なホワイトバランスが自動設定されます。AWB で自然な色合いにならないときは、ホワイトバランスを変更し、撮影時の光源に合った適正な色で撮影します。

1 FUNC.メニュー▶AWB＊（オート）

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンでホワイトバランスを選び、FUNC./SETボタンを押します。

ホワイトバランスの種類

AWB	オート	自動設定
☀	太陽光	晴天の屋外
☁	くもり	曇天や日陰、薄暮
💡	電球	電球、電球色タイプ（3波長型）の蛍光灯
蛍	蛍光灯	昼白色蛍光灯、白色蛍光灯、昼白色タイプ（3波長型）の蛍光灯

	蛍光灯 H	昼光色蛍光灯、昼光色タイプ(3 波長型)の蛍光灯
	マニュアル	白い紙や布など白を基調としたものを取り込んで、最適な白データとしてカメラに記憶させてから撮影できます。

● マイカラーが や の場合は、ホワイトバランスは設定できません。

マニュアルホワイトバランスを使うには

白い紙や布など、基準としたい白色をカメラに記憶させ、その撮影状況下で最適なホワイトバランスを設定できます。
特に次のような場合、(オート)では、ホワイトバランスが調整できないことがありますので、(マニュアル)で白データを取り込んでから撮影してください。
・至近距離(マクロ)で撮影するとき
・単一な色の被写体(空、海、森など)を撮影するとき
・水銀灯などの特殊な光源で撮影するとき

1 FUNC.メニュー ▶ *(オート) ▶ (マニュアル)

メニュー操作(p. 18)

*初期設定

2 白い紙や布にカメラを向け、MENU を押す

● 液晶モニターを使用時は中央の枠いっぱいに、ファインダー使用時は、画面いっぱいに白い紙や布を表示させてください。ただし、デジタルズーム使用時は、中央の枠は表示されません。

- 撮影モードを M にし、露出補正を±0にすることをおすすめします。適正露出でない場合（真っ黒や真っ白）は、白データを正しく取り込めないことがあります。
- 白データを取り込んだときと同じ条件で撮影してください。条件が異なると、最適なホワイトバランスが設定できないことがあります。特に以下の条件は変更しないでください。
  - ISO 感度
  - ストロボ：常時発光または発光禁止にしておくことをおすすめします。［オート］で、白データ取り込みの際にストロボが発光した場合は、撮影時もストロボを発光させてください。

マイカラーで撮る

撮影モード AUTO SCN

画像の印象を変えて撮影できます。

マイカラーの種類

OFF	マイカラー切	通常設定
V	くっきりカラー	コントラストと色の濃さを強調し､くっきりした色合いにする。
N	すっきりカラー	コントラストと色の濃さを抑え､すっきりとした色合いにする。
Se	セピア	セピア色にする。
BW	白黒	白黒にする。
C	カスタムカラー	コントラスト / シャープネス / 色の濃さを設定して撮影する。

1 FUNC.メニュー ▶ OFF *(マイカラー切)

メニュー操作（p. 18）

＊初期設定

- ◆/◆ ボタンでマイカラーモードを選びます。
- **C のとき**
  「カスタムカラーモードに設定する」（p. 47）をご覧ください。
- **C 以外のとき**
  FUNC./SETボタンを押して撮影画面に戻り、撮影します。

2 撮影する

カスタムカラーモードに設定する

1 (カスタムカラー) ▶ MENU

メニュー操作（p. 18）

2 ▲/▼ ボタンで[コントラスト]、[シャープネス]、[色の濃さ]のいずれかを選び、◀/▶ ボタンで調整する

- 調整結果が表示されます。

項目を選ぶ　調整する

3

- 設定を終了します。

このとき、MENUボタンを押すと、マイカラーモードを選ぶ画面に戻ります。

撮影する

ISO ISO感度を変更する

撮影モード AUTO ... SCN ... M

暗いところで手ぶれを抑えたり、被写体ぶれを抑えるためにシャッタースピードを速くしたいとき、あるいはストロボをオフにして撮影したいときには、ISO 感度を上げます。

1 ISOボタンを押して切り換える

- ボタンを押すごとに、ISO AUTO *、ISO HI、ISO 80、ISO 100、ISO 200、ISO 400、ISO 800の切り換えができます。

  ＊初期設定
- 撮影モードがAUTOのときは、ISO AUTO、ISO HIのみ選択できます。
- 長秒時で撮影するとき(p. 42)は、ISO AUTO、ISO HIの選択はできません
- ISO AUTO（オート）を選ぶと、撮影時の明るさに応じて最適な感度に設定されます。暗いところでは自動的に感度が上がるためシャッタースピードが速めになり、手ぶれが低減されます。
- ISO HI（高感度オート）*を選ぶと、ISO AUTOよりも感度が高めに設定されます。そのため、シャッタースピードがより速めになり、同じシーンを撮影してもISO AUTOに比べ、手ぶれや被写体ぶれが低減されます。

  ＊ISO AUTOに比べて撮影画像にノイズが増えることがあります。

- ISO AUTOまたはISO HIに設定した場合、シャッターボタンを半押ししたときや再生情報には、カメラが自動的に設定した ISO 感度が表示されます。

縦横自動回転の設定をする

撮影モード AUTO SCN M

このカメラには SI（Super Intelligent）センサーが装備されており、縦位置で撮影した画像は、再生時に正しい縦位置に回転して表示されます。

1 （設定）メニュー▶ （縦横自動回転）▶［入］*/［切］

メニュー操作（p. 19）

＊初期設定

● 撮影時に縦横自動回転を［入］にすると、液晶モニターに（情報表示ありのとき）、（通常）、（右が下）、または（左が下）が表示されます。

● カメラを真上や真下に向けて撮影すると、正しく機能しない場合があります。アイコン（ ）を確認し、正しく天地を判断しない場合は、［切］にしてお使いください。
● 縦横自動回転の設定が［入］のときに縦位置で撮影した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては、回転結果が反映されないことがあります。

● このカメラは、SI センサーにより、縦位置で構えて撮影する場合、上側を「天」、下側を「地」と判断し、縦位置に最適なフォーカス、露出、ホワイトバランス制御を行います。この機能は、縦横自動回転の入 / 切に関係なく有効です。

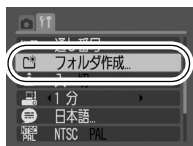
画像の保存先（フォルダ）を作成する

撮影モード AUTO SCN M

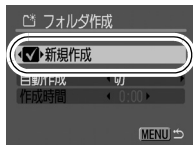
任意のタイミングで新しいフォルダを作成できます。撮影した画像は、そのフォルダ内に自動的に保存されます。

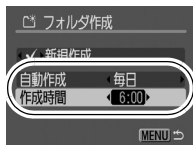
新規作成	次回撮影時に新しいフォルダを作成します。また新しいフォルダを作成したい場合には、再度チェックマークをつけてください。
自動作成	指定した日時以降の撮影時に、新しいフォルダを作成したい場合、日時を指定します。

1 （設定）メニュー ▶ （フォルダ作成）

メニュー操作（p. 19）

次回撮影時にフォルダを作成する

2 [新規作成]に ←/→ ボタンでチェックマークをつける ▶

● 撮影時、液晶モニターに が表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

2 [自動作成]で作成日を選び、[作成時間]で時刻を設定する▶ MENU

- 指定した時間になると、液晶モニターにが表示されます。フォルダが作成されると、表示は消えます。

- 1つのフォルダに最大2000画像まで保存されます。新規にフォルダを作成しなくても、2000 画像を超えると、新しいフォルダが自動的に作成されます。

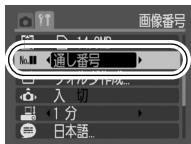
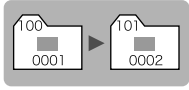
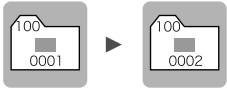
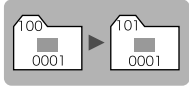
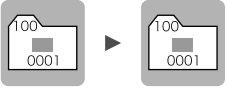
画像番号をリセットする

撮影モード AUTO SCN M

撮影した画像には、自動的に画像番号がつきます。その画像番号の設定方法を選択します。

1 (設定)メニュー ▶ (画像番号) ▶ [通し番号]*/[オートリセット]

メニュー操作(p. 19)

*初期設定

画像番号リセット機能について

通し番号	最後に撮影した画像の続き番号が次の画像につけられます。そのため、フォルダを変更したり、メモリーカードを交換*したりしても、画像番号が重複しません。パソコンで画像をまとめて管理する場合に便利です。 *新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、最後に撮影した画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号を比べ、大きいほうの番号を引き継ぎます。
オートリセット	フォルダ番号、画像番号が初期値(100-0001)に戻ります*。フォルダ単位で管理する場合に便利です。 *新規のメモリーカードに交換時。記録済みのメモリーカードを入れたときは、そのメモリーカードに記録されている画像のフォルダ番号と画像番号を合わせた 7 桁の番号の続きの番号になります。

画像番号およびフォルダ番号について

撮影した画像には、0001 ～ 9999 までの画像番号が割り振られ、各フォルダには、100 ～ 999 までの番号が割り振られます。
1 つのフォルダには、2000 画像ずつ保存されます。

	フォルダを新規に作成した場合	他のメモリーカードに交換した場合
通し番号	メモリーカード 1 100 0001 ▶ 101 0002	メモリーカード 1 メモリーカード 2 100 0001 ▶ 100 0002
オートリセット	メモリーカード 1 100 0001 ▶ 101 0001	メモリーカード 1 メモリーカード 2 100 0001 ▶ 100 0001

- 次の設定で撮影した画像は、必ず1つのフォルダに保存されるため、2000画像に満たなくても、十分な空きがない場合には、新しいフォルダに保存される場合があります。
  - 連続撮影
  - セルフタイマー（カスタムの場合）
- 同じフォルダ番号や、フォルダ内に同じ画像番号が複数あるときは、再生できません。
- フォルダの構造や画像のタイプについては、ソフトウェアクイックガイドでご確認ください。

再生 / 消去する

基本編（p. 19）もご確認ください。

拡大して見る

1 ズームレバーを側に押す

- SET が表示され、拡大表示になります。
- 画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。

表示位置の目安

2 ↑/↓ / ←/→ ボタンで表示位置を変更する

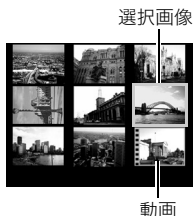
- 拡大再生中に FUNC./SET ボタンを押すと、画像送りモードになり、SET が表示されます。←/→ ボタンで拡大したまま前または次の画像を表示できます。再度FUNC./SETボタンを押すと、画像送りモードを解除します。
- ズームレバーで倍率を変更できます。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す（MENU ボタンを押すと、すぐに解除できます。）

- 動画、インデックス再生時は、拡大表示できません。

9画像ずつまとめて見る(インデックス再生)

1 **ズームレバーを側に押す**

- 9画像ずつ表示されます。
- ▲/▼ / ◀/▶ ボタンで選択画像を切り換えます。

9 画像ずつ表示を切り換える

インデックス再生中にズームレバーを側に押すと、ジャンプバーが表示され、9画像ずつ表示の切り換えができます。

- ◀/▶ ボタンで前または次の9画像を表示します。
- FUNC./SET ボタンを押しながら ◀/▶ ボタンを押すと、最初または最後の9画像を表示します。

解除のしかた：ズームレバーを側に押す

目的の画像にジャンプする

メモリーカードにたくさんの画像を記録しているときは、次の5つの検索キーでジャンプしながら目的の画像を探し出すと便利です。

	10 枚	画像を 10 枚ずつ飛ばして表示する
	100 枚	画像を 100 枚ずつ飛ばして表示する
	日付	各撮影日の先頭画像を表示する

再生／消去する

	動画	動画を表示する
	フォルダ	各フォルダの先頭画像を表示する

1 シングル再生時に、ボタンを押す

- 検索ジャンプモードになります。
- 検索キーによって、画面例は若干異なります。

現在表示中の画像位置

検索キーに合致した画像数

2 ▲/▼ ボタンで検索キーを選び、◀/▶ ボタンを押す

解除のしかた：MENU ボタンを押す

動画を見る

- インデックス再生時は、動画は再生できません。

1 動画を表示し、(FUNC. SET)を押す

- SET の表示されている画像が動画です。

動画再生パネル

音量
（▲/▼ ボタンで調節）

2 ▶（再生）を選び、FUNC./SETを押す

- 再生中にFUNC./SETボタンを押すと、再生が一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 再生が終了すると、最終フレームが表示されたままで停止します。FUNC./SETボタンを押すと、再度、動画再生パネルが表示されます。
- 前回、再生を途中で中断した場合でも、最初のフレームが表示されます。

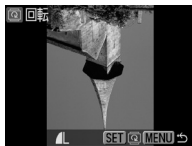
動画再生パネルの操作

	シングル再生に戻る
	動画の印刷（プリンター接続時にアイコンが表示されます。詳細はダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。）
	再生
	スロー再生（スロー再生の速度は、◆ボタンで遅く、◆ボタンで速くできます。）
	先頭フレームを表示
	フレーム戻し（FUNC./SETボタンを押し続けると早戻しします。）
	フレーム送り（FUNC./SETボタンを押し続けると早送りします。）
	最終フレームを表示

- テレビで動画を再生するときの音量は、テレビで調節してください（p. 62）。
- スロー再生中、音声は再生されません。

回転して表示する

時計方向に 90 度、270 度に回転して表示します。

元画像

90 度

270 度

1 **(再生)メニュー ▶**

メニュー操作(p. 19)

2 **←/→ ボタンで回転する画像を選び、(FUNC. SET) を押して回転する**

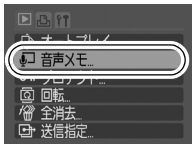
- FUNC./SETボタンを押すごとに、90度→270度→元画像が表示されます。
- インデックス再生にしても設定できます。

- 動画は回転できません。
- カメラで回転した画像をパソコンに取り込む場合、取り込みに使用するソフトウェアによっては回転結果が反映されないことがあります。

音声メモをつける

画像の再生中（シングル再生、インデックス再生）に、最長 1 分の音声メモをつけることができます。音声データは WAVE タイプで保存されます。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p. 19）

2 ◀/▶ ボタンで音声メモをつける画像を選び、FUNC./SET を押す

- 音声メモパネルが表示されます。

3 (録音)を選び、FUNC./SET を押す

- 録音時間と録音可能時間が表示されます。
- FUNC./SETボタンを押すと録音を一時停止します。再度ボタンを押すと再開します。
- 1 画像につき、合計が 1 分に達するまで音声メモを追加できます。

音声メモパネルの操作

↩	設定を終了します。
●	録音
■	停止
▶	再生
🗑	消去 表示される画面で[消去]を選び、FUNC./SET ボタンを押します。

- 動画には音声メモをつけられません。
- プロテクトされている画像の音声メモは消去できません。

画像を自動再生する(オートプレイ)

メモリーカード内の全画像を自動再生します。再生間隔は3秒です。

1 **(再生)メニュー▶**

メニュー操作(p. 19)

2 **を押す**

- 自動再生中は、次のことができます。
  - オートプレイの一時停止/再開：FUNC./SETボタンを押す
  - 画像の送り / 戻し：◆/◆ ボタンを押す(ボタンを押し続けると早送りします。)
  - オートプレイの中止：MENUボタンを押す

画像をプロテクト（保護）する

大切な画像や動画を誤って消去しないように、プロテクトの設定ができます。

1 （再生）メニュー ▶

メニュー操作（p. 19）

2 ←/→ ボタンでプロテクトしたい画像を選び、FUNC./SET を押す

- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと設定を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

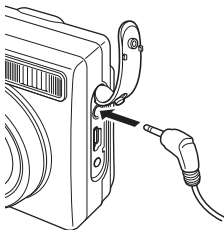
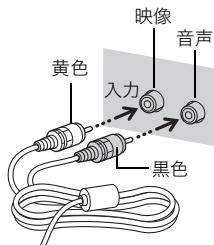
プロテクトマーク

テレビを使って再生する

付属の AV ケーブルをお使いいただくと、テレビに画像を表示して再生ができます。ビデオ出力方式は、日本国内で採用している NTSC 方式が初期設定になっています。

1 カメラとテレビの電源を切る

2 カメラのA/V OUT端子にAVケーブルを接続する

- 端子カバーの下端に爪をかけて開き、AVケーブルを奥まで押し込みます。

3 テレビの映像入力端子と音声入力端子にAVケーブルを接続する

4 テレビの電源を入れ、入力切り換えをビデオ入力にする

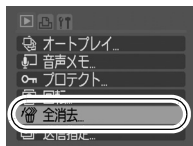
5 カメラの電源を入れる

- ビデオ出力方式の設定方法 (p. 23)
- 撮影モードにすると、テレビに画像を表示しながら撮影できます。

全画像を消去する

- 消去した画像は復元できません。十分に確認してから消去してください。
- プロテクトされている画像は消去できません。

1 (再生)メニュー▶

メニュー操作（p. 19）

2 [OK]を選び、FUNC. SET を押す

- 全消去を取り消すときは、［キャンセル］を選びます。

- 画像データだけでなく、メモリーカードの記録内容をすべて消去したいときは、メモリーカードを初期化してください（p. 25）。

印刷指定 / 送信指定する

DPOFの印刷指定

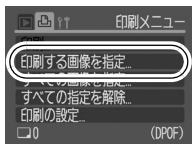
メモリーカードに記録されている画像の中から、印刷する画像や枚数をあらかじめカメラ側で指定できます。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。カメラダイレクト対応プリンターで一括して印刷するときや、プリント取り扱い店に注文するときに大変便利です。

DPOF 対応の他のカメラで印刷指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの印刷指定を変更すると、設定済みの印刷指定は、すべて書き換えられます。

1 画像ずつ指定する

1 (印刷)メニュー ▶ [印刷する画像を指定] ▶

メニュー操作（p. 19）

- [すべての指定を解除] を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。

2 ←/→ ボタンで印刷する画像を選ぶ

- 印刷タイプの設定（p. 66）によって異なります。
  - スタンダード（■）/両方（■ ▦）
    画像を選び、FUNC./SETボタンを押して ↑/↓ ボタンで印刷枚数を指定します（最大99枚まで）。

印刷枚数表示

  - インデックス（▦）
    画像を選び、FUNC./SETボタンで指定、指定解除を行います。

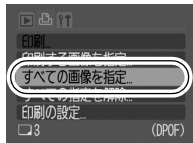
インデックス印刷の選択

- インデックス再生にしても設定できます。
- プリンターに接続している場合、画像の指定中に、 ボタンが青色に点灯します。このとき、 ボタンを押して、[印刷] が選択されていることを確認し、FUNC./SET ボタンを押すと、印刷が開始されます。

メモリーカード内のすべての画像を指定する

1 (印刷)メニュー ▶ [すべての画像を指定] ▶

メニュー操作（p. 19）

- すべての画像に対して1枚ずつ印刷指定されます。
- [すべての指定を解除] を選ぶと、画像の印刷指定をすべて解除します。
- プリンターに接続している場合、 ボタンが青色に点灯します。このとき、 ボタンを押して、[印刷] が選択されていることを確認し、FUNC./SETボタンを押すと、印刷が開始されます。

2 [OK]を選び、(FUNC. SET)を押す

- プリンターまたはプリント取り扱い店によっては、指定内容が反映されないことがあります。
- 動画は印刷指定できません。

- 画像番号の順に印刷されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。
- ［印刷タイプ］が［両方］の場合、印刷枚数は指定できますが、［インデックス］の場合は指定できません。［インデックス］は 1 枚のみ印刷されます。

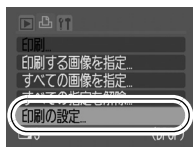
印刷スタイルを設定する

印刷スタイルを設定してから、印刷する画像を選んでください。次の内容を設定できます。

＊初期設定

印刷タイプ	スタンダード＊		用紙 1 枚に 1 画像を印刷します。
	インデックス		画像を縮小してインデックス形式で印刷します。
	両方		スタンダードとインデックスの両方を印刷します。
日付(入 / 切＊)			日付を入れて印刷します。
画像番号(入 / 切＊)			画像番号を入れて印刷します。
印刷後指定解除(入＊ / 切)			印刷後、画像の印刷指定をすべて解除します。

1 (印刷)メニュー ▶ [印刷の設定] ▶ (FUNC. SET)

メニュー操作（p. 19）

2 ▲/▼ で（印刷タイプ）、（日付）、（画像番号）、（印刷後指定解除）のいずれかを選び、◀/▶ で設定したい内容を選ぶ

- 印刷タイプによって、日付と画像番号の設定は次のようになります。
  - ［インデックス］のとき
    （日付）と（画像番号）を同時に設定できません。
  - ［スタンダード］または［両方］のとき
    （日付）と（画像番号）を同時に［入］に設定できます。ただし、お使いのプリンターによって、印刷できる情報が異なることがあります。
- （L 判プリント）で日付を写し込んだ画像（p. 31）は、（日付）の設定にかかわらず、日付が印刷されます。そのため、（日付）を［入］に設定すると、日付が重複して印刷されてしまいます。
- 日付は、（日付 / 時刻）で設定した日付スタイルで印刷されます（p. 23、基本編 p. 8）。

DPOFの送信指定

パソコンに取り込む画像をあらかじめカメラ側で指定できます。パソコンへの送信方法は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください。なお、この指定は、DPOF（Digital Print Order Format）に準拠しています。

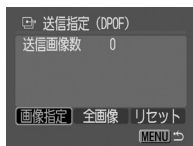
DPOF 対応の他のカメラで送信指定されたメモリーカードの場合、⚠が表示されることがあります。このカメラでそれらの送信指定を変更すると、設定済みの送信指定は、すべて書き換えられます。

1 ▶(再生)メニュー▶ ▶ (FUNC. SET)

メニュー操作（p. 19）

1 画像ずつ指定する

2 **[画像指定]を選び、(FUNC. SET)を押す**

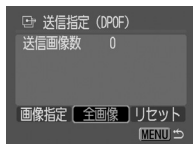
- ［リセット］を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 **◆/◆ ボタンで送信する画像を選び、(FUNC. SET)を押す**

- 再度 FUNC./SET ボタンを押すと選択を解除できます。
- インデックス再生にしても設定できます。

送信画像の選択

メモリーカード内のすべての画像を指定する

2 [全画像]を選び、(FUNC.SET)を押す

- [リセット] を選ぶと、送信指定をすべて解除します。

3 [OK]を選び、(FUNC.SET)を押す

- 画像番号の順に送信されます。
- 最大 998 画像まで指定できます。

こんなときには

カメラ全般

カメラが動作しない	
電源が入っていません。	●電源スイッチを押してください（基本編 p. 9）。
メモリーカードスロット / バッテリーカバーが開いています。	●メモリーカードスロット / バッテリーカバーがしっかりと閉じていることを確認してください（基本編 p. 5）。
電池が逆向きに入っています。	●電池を、正しい方向で入れ直してください（基本編 p. 5）。
不適切な電池が入っています。	●未使用の単３形アルカリ電池またはキヤノン製の単３形ニッケル水素電池を入れてください（p. 85）。
電池の残量が少なく、動作不能です（「バッテリーを交換してください」というメッセージが表示されます）。	●未使用の電池または、十分に充電された充電池に２本とも交換してください（基本編 p. 5）。 ●AC アダプターキット ACK800（別売）を使用してください（p. 92）。
カメラと電池の接触不良です。	●電池の電極を乾いたきれいな布で拭いてください。 ●電池を数回入れ直してください。
カメラ内部で音がする	
カメラの縦・横の向きが変わりました。	●カメラの向きを検出する機構が働いています。カメラの故障ではありません。

電源を入れたとき

「ライトプロテクト」が表示された	
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードの「ライトプロテクト（書き込み禁止）」スイッチが、「書き込み禁止」になっています。	● 書き込み、消去、初期化したいときは、ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 87）。

日付 / 時刻の設定画面が表示された	
コイン型リチウム電池の容量がなくなっています。	● コイン型リチウム電池を交換してください（p. 95）。

液晶モニター

表示されない	
液晶モニターが非表示の設定になっています。	● DISP. ボタンを押して液晶モニターをつけてください（p. 12）。

表示が黒くなる	
太陽や強い光が当たると黒くなることがあります。	● これは CCD 特有の現象でカメラの故障ではありません（動画にはこの画像が記録されますが、静止画には記録されません）。

画面がちらつく	
蛍光灯の下で撮影しています。	● カメラの故障ではありません（動画には記録されますが、静止画には記録されません）。

赤紫などの帯が表示された	
太陽や照明などの明るい被写体を撮影するときに表示されることがあります。	● これは CCD 特有の現象で、カメラの故障ではありません（動画にはこの帯が記録されますが、静止画には記録されません）。

が表示された	
光量不足で、シャッタースピードが遅くなっているなどの理由が考えられます。	● ISO 感度を上げてください（p. 48）。 ● ストロボを （発光禁止）以外に設定してください（基本編 p. 14）。 ● セルフタイマーを設定し、三脚などでカメラを固定してください。

⚠ が表示された	
DPOF 対応の他のカメラで、印刷指定または送信指定されたメモリーカードです。	● このカメラでそれらの印刷指定または送信指定を変更すると、設定内容はすべて書き換えられますので、ご注意ください（p. 64）。

ノイズが表示される / 表示される被写体の動きがぎこちない	
暗い場所で撮影する場合、液晶モニターを見やすくするために、カメラが液晶モニターに映し出される画像を自動的に明るくしました（p. 12）。	● 記録される画像に影響はありません。

撮影のとき

撮影できない	
▶（再生）モードになっています。	● シャッターボタンを半押しするか、 / ▶ ボタンを押して、撮影モードに切り換えてください（基本編 p. 7）。

ストロボが充電中です。	●充電が完了するとランプが橙色に点灯し、撮影できます（基本編 p. 4）。
メモリーカードの空き容量がありません。	●新しいメモリーカードを入れてください（基本編 p. 5）。 ●必要であれば、カードに記録されている画像をパソコンに取り込んでから画像を消去し、空き容量を増やしてください。
メモリーカードが正しく初期化されていません。	●メモリーカードを初期化してください（p. 25）。 ●メモリーカードの論理フォーマットが壊れている可能性があります。お客様相談センターにお問い合わせください。
SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。	●ライトプロテクトスイッチを上にスライドしてください（p. 87）。

ファインダーから見える範囲と、撮影された範囲にズレがある

通常はファインダーから見える範囲よりも広い範囲が撮影されます。	●実際に撮影される範囲は、液晶モニターで確認してください。マクロモードのときは、このズレが大きいので、必ず液晶モニターを使用してください（p. 12）。

画像がぼやけている、ピントが合いにくい

シャッターボタンを押したとき、カメラが動いています。	●「が表示された」（p. 72）でご確認ください。

AF 補助光が［切］になっています。	●暗い場所などでピントが合いにくいとき、AF 補助光が光ってピントを合いやすくします。AF 補助光が「切」だと機能しないので、「入」にして、AF 補助光を発光させてください（p. 21）。このとき、AF 補助光投光部に手がかからないように注意してください。
被写体がピントの合う範囲から外れています。	●正しい撮影距離範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 98）。
ピントが合いにくい被写体です。	●フォーカスロックまたはAFロックで撮影してください（p. 37）。
撮影した画像の被写体が暗すぎる	
撮影時の光量が不足しています。	●ストロボを ϟ（常時発光）にしてください（基本編 p. 14）。
周辺部が明るすぎるため、狙った被写体の露出がアンダー（露出不足）になっています。	●露出補正値をプラス側に設定してください（p. 41）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 39、41）。
被写体が遠すぎてストロボ光が届いていません。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボ撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 99）。 ●ISO 感度を上げて撮影してください（p. 48）。
撮影した画像の被写体が明るすぎる、または白飛びする	
被写体が近すぎてストロボ光が強すぎます。	●ストロボをお使いになるときは、内蔵ストロボの撮影範囲内に被写体を収めて撮影してください（p. 99）。

周辺部が暗すぎるため、狙った被写体の露出がオーバー（露出過多）になっています。	●露出補正値をマイナス側に設定してください（p. 41）。 ●AE ロックまたはスポット測光機能をお使いください（p. 39、41）。
照明が直接、もしくは被写体の表面で反射してカメラに入っています。	●被写体に対するカメラのアングルを変えてください。
ストロボが「常時発光」になっています。	●ストロボを（発光禁止）にしてください（基本編 p. 14）。

画像にノイズがある

ISO 感度が高すぎます。	●高い ISO 感度や（高感度オート）を選ぶと、画像にノイズが増えることがあります。画質を優先する場合には、なるべく低い感度を選んでください（p. 48）。 ●、、では、ISO感度が上がり、ノイズが発生しやすくなります。

画像に白い点などが写る

ストロボ撮影時に空気中のちりやほこり、虫などにストロボ光が反射しました。特にワイド側で撮影したときに、目立ちやすくなります。	●デジタルカメラ特有の現象でカメラの故障ではありません。

目が赤く写る	
暗い所でストロボを発光したため、ストロボの光が目に反射しました。	● ◎（赤目緩和機能）を［入］に設定して撮影してください（基本編 p. 15）。写される人が赤目緩和ランプを見ていないと効果がありません。ランプを見るよう声をかけてください。 ●「室内を明るくする」、「写したい人に近付く」とより効果があります。ただし、赤目緩和ランプが点灯するときに、効果を高めるため、約１秒間シャッターは切れませんのでご注意ください。
連続撮影速度が遅くなった	
メモリーカードの性能が低下しました。	● 連続撮影の性能を十分に発揮するため、撮影した画像をパソコンに保存してから、カメラでメモリーカードを物理フォーマットすることをおすすめします（p. 25）。
メモリーカードへの画像の記録時間が長い	
違う機器で初期化したメモリー カードが入っています。	● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 25）。
レンズが出たままで収納されない	
電源を入れたまま、メモリーカードスロット / バッテリーカバーを開けました。	● メモリーカードスロット / バッテリーカバーを閉じた後、電源を入れてからもう一度切ってください（基本編 p. 5）。

動画撮影のとき

正しい撮影時間が表示されない、または中断される

以下のようなメモリーカードをお使いです。 - 書き込み速度が遅い - 他のカメラやパソコンで初期化した - 撮影 / 消去を繰り返した	●撮影時間が正しく表示されないときも、メモリーカードには実際に撮影した時間の動画が記録されています。メモリーカードをこのカメラで初期化すると、正しい時間が表示されます（書き込み速度の遅いメモリーカードを除く）（p. 25）。

液晶モニターに「！」が赤く表示され、撮影が自動的に終了した

カメラの内部メモリーが少なくなりました。	●以下の方法をお試しください。 - 撮影する前にメモリーカードを物理フォーマットする（p. 25） - 記録画素数を小さくしたり、フレームレートを下げる（p. 35） - 高速のメモリーカード（SDC-512MSH など）を使用する

ズームできない

動画撮影中にズームレバーを押しました。	●撮影前にズームを操作してから、動画を撮影してください（基本編 p. 14）。ただし、デジタルズームは撮影中もお使いになれます（スタンダードのみ）。

再生のとき

再生できない

他のカメラで撮影した画像やパソコンで編集した画像を再生しようとしました。	● 付属の ZoomBrowser EX や ImageBrowser を使って、再生できない画像をパソコンからカメラに追加すると、再生できることがあります。詳細は、ZoomBrowser EX / ImageBrowser のソフトウェアガイド（PDF）をご覧ください。
ファイル名をパソコンで変更したり、ファイルの場所を変更しました。	● ファイル名およびフォルダ番号は、カメラの形式にあったファイル名にしてください（詳細は、ソフトウェアクイックガイドをご覧ください）。

動画を正しく再生できない

大きい記録画素数と高いフレームレートで撮影した動画を、読み込み速度の遅いメモリーカードで再生すると、再生が一瞬中断することがあります。

パソコンで動画を再生するとき、パソコンの性能によっては、画像がフレーム（コマ）落ちしたり、音声が途切れる場合があります。

ビデオ出力方式を PAL 方式に設定し、（スムーズ動画）で撮影した動画をテレビやビデオなどに出力する場合、撮影したフレームレートより低いフレームレートで再生されます。なお、スロー再生時は、すべてのフレームを再生できます。	● オリジナルのフレームレートで画像を確認したい場合は、カメラの液晶モニターまたはパソコンで再生することをおすすめします。

メモリーカードからの画像の読み出しが遅い	
違う機器で初期化したメモリーカードが入っています。	● このカメラで初期化したメモリーカードをお使いください（p. 25）。

電池

電池の消耗が早い	
不適切な電池が入っています。	● 未使用の単 3 形アルカリ電池またはキヤノン製の単 3 形ニッケル水素電池を入れてください（p. 85）。
周囲の温度が低いために電池の容量が低下しています。	● 温度が比較的低い場所で撮影する場合には、ポケットなどに電池を入れて、温めてからお使いください。
電池の電極が汚れています。	● 電極を乾いた布などで拭いてからお使いください。 ● 電池を数回入れ直してください。
キヤノン製の単３形ニッケル水素電池をお使いの場合	
１年以上お使いにならなかったために、充電池の容量が低下しています。	● フル充電して使い切ることを数回繰り返すうちに容量が回復します。
充電池の寿命です。	● 2 本ともすべて未使用の充電池と交換してください。

テレビ出力

テレビに出力できない / 画面が乱れる

お使いの地域のビデオ出力方式に合っていません。	● 正しいビデオ出力方式（NTSC または PAL）に合わせてください（p. 23）。日本国内の出力方式は、「NTSC」です。

カメラダイレクト対応プリンターで印刷するとき

印刷ができない

カメラとプリンターが正しく接続されていません。	● 指定されたケーブルでカメラとプリンターを正しく接続してください。
プリンターの電源が入っていません。	● プリンターの電源を入れてください。
印刷接続方式が正しくありません。	● （設定）メニューの［印刷接続方式］で［自動］を選択してください（p. 23）。

メッセージ一覧

撮影または再生中に液晶モニターに表示されるメッセージには以下のものがあります。
プリンターを接続しているときに表示されるメッセージについては、ダイレクトプリントユーザーガイドをご覧ください。

処理中 ...

撮影した画像をメモリーカードに記録しています。または、再生モードを起動中です。

カードがありません

メモリーカードをカメラに入れずに、電源を入れました。または、メモリーカードが正しい向きに入っていません（基本編 p. 5）。

ライトプロテクト

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードがライトプロテクト（書き込み禁止）されています。

記録できません

メモリーカードがカメラに入っていない、または、正しい向きに入っていないのに撮影しようとしました。または、動画に音声メモをつけようとしました。

カードが異常です

メモリーカードに異常がある可能性があります。異常のあるメモリーカードは、本製品で初期化するとお使いになれる場合があります。ただし、本製品付属のメモリーカードをお使いになっても、このエラーメッセージが表示される場合には、カメラの故障が考えられますので、修理受付窓口にお問い合わせください。

カードがいっぱいです

メモリーカードの容量いっぱいに画像が記録されていて、これ以上記録や保存ができません。または、これ以上、画像指定や音声メモの録音ができません。

ファイル名が作れません

カメラが作成しようとするフォルダと同じ名前のファイルが存在する、もしくは、すでに画像番号が最大値になってしまったために、ファイル名を作成できません。設定メニューで No.■（画像番号）を［オートリセット］に設定してください。または、必要な画像をパソコンに取り込んだ後、メモリーカードを初期化してください。なお、初期化すると、メモリーカード内の画像およびデータはすべて消去されます。

バッテリーを交換してください

電池の残量が少なく、カメラが動作不能です。ただちに 2 本とも未使用の単３形アルカリ電池か、充電されたキヤノン製の単３形ニッケル水素電池に交換してください。また、電池の取り扱いは「取り扱い上の注意（p. 85）」でご確認ください。

画像がありません

メモリーカードに画像が記録されていません。

画像が大きすぎます

4992 × 3328 画素より大きな記録画素数の画像、またはファイルサイズの大きな画像を再生しようとしました。

互換性のない JPEG です

互換性のない JPEG 圧縮の画像（パソコンで編集した画像など）を再生しようとしました。

RAW

RAW タイプで記録された画像を再生しようとしました。

認識できない画像です

データが破壊されている画像、互換性がない画像（他社カメラ特有の記録タイプなど）、パソコンで編集した画像、または別のカメラで撮影した動画を再生しようとしました。

拡大できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、いったんパソコンに取り込んで加工した画像、または動画を拡大しようとしました。

回転できない画像です

別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像、パソコンに取り込んで加工した画像、または動画を回転させようとしました。

互換性のない WAVE です

録音済みの音声のタイプが正しくないので、この画像に追加録音できません。また、音声の再生もできません。

転送できません

ダイレクト転送画面で画像をパソコンへダイレクト転送するとき、データが破壊された画像や別のカメラもしくは異なるタイプで撮影した画像を指定しようとしました。または、(パソコンの背景) を選び、動画を指定しようとしました。

プロテクトされています

プロテクトされている画像や動画、音声メモを、消去または編集しようとしました。

指定が多すぎます

印刷指定、送信指定の画像が多すぎます。これ以上指定できません。

指定完了できませんでした

印刷指定、送信指定を一部保存できませんでした。

指定できない画像です

JPEG 以外の画像を印刷指定しようとしました。

通信エラー

メモリーカードに大量の画像（1000 画像程度）があるため、パソコンに画像が取り込めませんでした。

レンズエラーを検知しました

レンズ駆動中にカメラがエラーを検知して、自動的に電源を切りました。レンズ駆動中にレンズを押さえたり、ほこり / 砂ぼこりの立つ場所などでカメラを起動すると、発生する恐れがあります。いったん電源を入れ直して、撮影または再生してください。頻繁にこのメッセージが表示されるときは、レンズの故障が考えられますので、修理受付窓口へお持ちください。

Exx

カメラがエラーを検知しました。いったん電源を入れ直して、再び撮影または再生してください。頻繁に、このエラーコードが表示されるときは、故障ですので「xx」の数値を控えて修理受付窓口へお持ちください。また、撮影直後にこのエラーコードが表示されたときは、撮影されていない場合がありますので、再生モードに切り換えてご確認ください。

付録

電池の取り扱い

電池残量の確認

以下のようなアイコンやメッセージが表示されます。

電池アイコン	バッテリーを交換してください
電池残量が低下しています。長時間お使いになる場合は、早めに電池を交換してください。	電池の残量が少なく、動作不能です。ただちに電池を交換してください。

取り扱い上の注意

- **このカメラで使用できる電池は、単3形アルカリ電池、キヤノン製単3形ニッケル水素電池（別売）です。**

  単3形ニカド電池もお使いになれますが、性能のばらつきがあり、おすすめはできません。

- **アルカリ電池の銘柄によっては、付属のアルカリ電池に比べ使用可能時間が短い場合があります。**

  アルカリ電池は銘柄により容量や特性に差があります。

- **低温下や長時間カメラをお使いになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池（別売）のご使用をおすすめします。**

  アルカリ電池は低温下では使用可能時間が短くなります。またニッケル水素電池に比べ、電池の寿命が短い場合があります。

- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**

  古い電池が液漏れを起こすことがあります。

- **電極（⊕と⊖）を逆にして入れないでください。**
- **メーカーや種類の異なる電池を混ぜて使わないでください。**
- **電池を入れる前に、電極を乾いた布などでよく拭いてください。**

  電極が皮脂などで汚れていると、記録可能画像数が著しく少なくなったり、電池の使用可能時間が短くなります。

●低温下では、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコン（▭）が早めに表示されることがあります。

使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

●ポケットで温めるときは、キーホルダーなどの金属類と一緒に入れないでください。

電池がショートするおそれがあります。

●長期間使用しないときは、カメラから電池を取り出して保管してください。

電池を入れたままにしておくと、液漏れが原因でカメラが故障することがあります。

⚠ 警告

外装シールが（一部または全体に関わりなく）剥がれている電池や破損している電池を使用すると、電池の液漏れ、発熱、破裂の原因となり危険ですので、絶対にお使いにならないでください。市販されているままの状態でも、電池によっては、外装シールが十分でないものがあります。このような電池も絶対にお使いにならないでください。

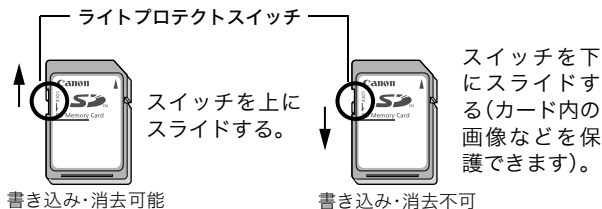
以下のような形状の電池はご使用になれません。

外装シールが一部またはすべて剥がしてある電池（裸電池）

プラス電極が平らな電池

マイナス電極の一部が膨らんでいるが、十分に外装シールで被われていない電池

メモリーカードの取り扱い

SD メモリーカード、SDHC メモリーカードのライトプロテクト（書き込み防止）スイッチについて

取り扱い上のご注意

- **曲げたり、強い力を加えたり、衝撃や振動を与えないでください。**
- **分解したり、改造しないでください。**
- **端子部にゴミや水、異物などを付着させたり、手や金属で触れたりしないでください。**
- **貼られているラベルをはがしたり、別のラベルやシールを貼ったりしないでください。**
- **文字を書くときは、鉛筆やボールペンを使用しないでください。必ず油性ペンをお使いください。**
- **下記の場所で使用したり、保管しないでください。**
  - ・ほこりや砂ぼこりの立つ場所
  - ・高温多湿の場所
- **大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。**

  電気ノイズ、静電気、カメラやメモリーカードの故障などにより、カード内のデータが壊れたり、消失することがあります。

初期化

●初期化すると、プロテクトした画像も消去されます。

●このカメラで初期化したメモリーカードをお使いになることをおすすめします。

・付属のメモリーカードは、そのままお使いになれます。

・カメラが正しく動作しないときは、メモリーカードが壊れている可能性があります。初期化すると正しく動作する場合もあります。

・キヤノン製以外のメモリーカードで正しく動作しないときは、初期化すると正しくお使いになれることがあります。

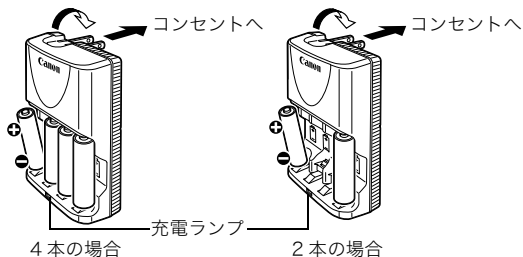
・他のカメラやパソコン、周辺機器で初期化したメモリーカードを使用すると、正しく動作しない場合があります。その際は、このカメラで初期化してください。

●正しく初期化されないときは、電源を切ってから、メモリーカードを入れ直し、再度初期化してください。

**●カード内のデータは、初期化や削除をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消去されません。譲渡・廃棄するときは、ご注意ください。
廃棄するときは、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。**

電源キット(別売)の使いかた

充電式バッテリーを使う
(バッテリー / チャージャーキット CBK4-300)

バッテリーチャージャーと単3形ニッケル水素電池4本が入っています。次のように電池を充電してください。2本でも充電できます。

・バッテリーチャージャーに電池を装着してから、コンセントに差してください。
・電池の充電開始後に、電池を追加して充電しないでください。
・充電中は充電ランプが点滅します。充電が終わると点灯に変わります。

- バッテリーチャージャー CB-5AH はキヤノン製単3形ニッケル水素電池 NB-3AH、NB-2AH 専用です。その他の電池を充電しないでください。
- 充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使わないでください。電池を充電するときは、必ず、一緒に使用している2本を同時に充電してください。
- 電池を保護し、性能の劣化を防ぐため、フル充電された電池を再度充電しないでください。また、24 時間以上連続して充電しないでください。
- 熱のこもりやすい場所では充電しないでください。
- 充電は、「バッテリーを交換してください」というメッセージが液晶モニターに表示されてから行ってください。使い切らずに充電を繰り返すと、容量が低下することがあります。

- 以下のときは、電池の電極を乾いた布などでよく拭いてください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。
  - 電池の使用可能時間が著しく短いとき
  - 記録画像数が著しく少ないとき
  - 電池を充電するとき（さらに、電池の取り付けと取り外しを２～３回繰り返してから充電してください。）
  - 電池の充電時間が数分程度で終了する（バッテリーチャージャーの充電ランプが点灯する）とき
- お買い求め直後や長期間お使いにならなかった電池は、十分に充電されないことがあります。このときは、フル充電して電池を使い切ることを数回繰り返してください。電池の性能が元に戻ります。
- 電池を長期間（1年程度）保管する場合は、カメラで電池を使い切ってから、湿度の低い、室温（0～30℃）で保管してください。フル充電の状態で長期間保管すると、電池の寿命を縮めたり、性能の劣化の原因となることがあります。

  また1年以上使用しないときは、年に1度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。
- 電極を拭いてから充電ランプが点灯するまで充電したにもかかわらず、電池の使用可能時間が著しく短いときは、電池の寿命と考えられます。新しい電池と交換してください。新しくお求めになるときは、キヤノン製の単3形ニッケル水素電池をご購入ください。
- 電池をカメラやバッテリーチャージャーに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。使用しないときは、カメラやバッテリーチャージャーから取り出して、乾燥した冷暗所に保管してください。

- バッテリーを使い切った状態からフル充電するまでの時間は、約4時間40分です。2本を両端にセットしたときは、約2時間です（当社測定基準による）。また、0～35℃の環境で充電してください。
- 充電時間は、周囲の温度や充電状態により異なります。
- バッテリーチャージャーを使用中、音がすることがありますが故障ではありません。
- バッテリー / チャージャーキットCBK4-200もお使いになれます。

Ni-MH

・ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
・ニッケル水素電池の回収、リサイクルについては、下記のキヤノンホームページ上で確認できます。
・交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・リサイクル協力店へのお問い合わせは、以下へお願いします。

- 製品、ニッケル水素電池をご購入いただいた販売店
- 「有限責任中間法人 ＪＢＲＣ」および「キヤノン / キヤノンマーケティングジャパン」

有限責任中間法人 ＪＢＲＣ ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

キヤノンサポートページ
canon.jp/support

付録

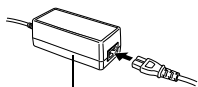
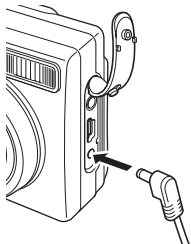
リサイクル時のご注意

・電池を分解しないでください。

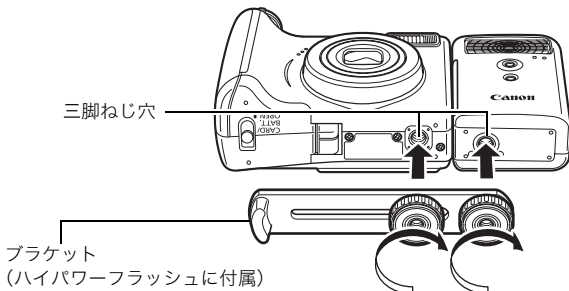
AC アダプターキット ACK800 を使う

カメラを連続して長時間お使いになるときや、パソコンと接続するときは、AC アダプターキット ACK800（別売）のご利用をおすすめします。

- カメラの電源を切って、コンパクトパワーアダプターの取り付けや取り外しを行ってください。

1 コンパクトパワーアダプターに電源コードを接続し、電源プラグをコンセントに差し込む

2 端子カバーを開き、DC端子を接続する

補助ストロボ(別売)の使いかた

ハイパワーフラッシュ HF-DC1

被写体が遠すぎて内蔵ストロボが届かないときに使用する外付け用補助ストロボです。次のようにカメラとハイパワーフラッシュをブラケットで固定して撮影してください。
ハイパワーフラッシュに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

- 電池が消耗するとハイパワーフラッシュの充電時間が長くなります。使用後はハイパワーフラッシュの電源 / 発光モードスイッチを必ず切ってください。
- 撮影中は、発光部や受光部を指でふさがないように注意してください。
- 撮影場所の周囲で他のカメラがストロボを使用していると、ハイパワーフラッシュが発光することがあります。
- 日中の野外や反射物がないときは、ハイパワーフラッシュが発光しないことがあります。
- 連続して撮影するときは、1画像目の撮影時は発光しますが、2画像目以降は発光しません。
- ブラケットの取り付けねじは、しっかり締め付けてください。カメラとハイパワーフラッシュが落下して故障の原因となります。

- ハイパワーフラッシュをブラケットに固定する前にリチウム電池（CR123A または DL123）が入れてあるか確認してください。
- 被写体に正しくストロボが当たるように、カメラとハイパワーフラッシュの前面は平行に、側面はぴったり合うように固定してください。
- ハイパワーフラッシュを取り付けた状態でも三脚はお使いになれます。

■電池について

●電池の使用可能時間が著しく短いとき

電池の電極を乾いた布などでよく拭いてからお使いください。電極が皮脂などで汚れていることがあります。

●寒冷地でお使いになるとき

予備として市販のリチウム電池（CR123A または DL123）を用意してください。使用直前までポケットなどに入れて温めてから交互にお使いになることをおすすめします。

●お使いにならないとき

電池をハイパワーフラッシュに入れたままにしておくと、液漏れが原因で故障することがあります。ハイパワーフラッシュから取り出して乾燥した冷暗所に保管してください。

コイン型リチウム電池を交換する

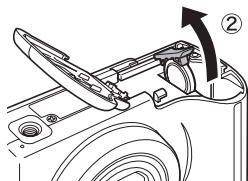
カメラの電源を入れたとき、日付 / 時刻の設定メニューが表示された場合は、コイン型リチウム電池の残量が低下し、日時の設定が消えています。市販のコイン型リチウム電池（CR1220）をお求めのうえ、次の手順で交換してください。

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、ご購入時の電池寿命が規定よりも短くなることがあります

- コイン型リチウム電池は、お子様の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合、電池の素材の化学物質により胃、腸が侵される恐れがありますので、直ちに医師に相談してください。

1 電源が切れていることを確認する

2 メモリーカードスロット/バッテリーカバー開放スイッチをスライドして開く

3 コイン電池ホルダーに爪をかけて軽く引き上げ（①）、矢印の方向に取り出す（②）

4 コイン型リチウム電池を矢印の方向に引き上げながら取り出す

付録

5 新しいコイン型リチウム電池の(－)側を上にして取り付ける

6 コイン電池ホルダーを元の位置に戻し、メモリーカードスロット/バッテリーカバーを閉じる

7 日付 / 時刻設定メニューが表示されたら、日付 / 時刻を設定する(基本編 p. 8)

- カメラをご購入後、はじめて電源を入れたときにも、日付 / 時刻の設定画面が表示されますが、コイン型リチウム電池を交換する必要はありません。

海外で使うとき

電源について

海外でもお使いになれます。

AC アダプターキットやバッテリーチャージャーは、AC100 ～ 240V 50/60Hz までの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります(1 つの国の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります)。変換プラグアダプターやコンセントの形状については、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

- AC アダプターキットやバッテリーチャージャーを海外旅行用の電子変圧器などに接続すると、故障、発熱、火災、感電、けがの原因となることがありますので、接続しないでください。

テレビでの再生

ビデオ出力方式は、初期設定では日本国内で採用している NTSC 方式に設定されていますが、海外の別方式（PAL 方式：主にヨーロッパ、オセアニア、アジア（一部地域を除く））に切り換えることができます。海外に旅行したときなどは、切り換えてお使いください（p. 23）。

カメラのお手入れ

絶対にシンナーやベンジン、中性洗剤や水などを使ってクリーニングしないでください。部品の変形や故障の原因になることがあります。

カメラ本体

やわらかい布やメガネ拭きなどで汚れを拭き取ってください。

レンズ

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払った後、やわらかい布で軽く拭き取ってください。

- カメラ本体やレンズは、絶対に有機溶剤を含むクリーナーなどで拭かないでください。どうしても汚れが落ちないときは、最寄りの修理受付窓口（別紙でご確認ください）にご相談ください。

ファインダー、液晶モニター

市販のブロワーブラシでほこりやゴミを吹き払ってください。汚れがひどいときは、やわらかい布やメガネ拭きなどで軽くこすって汚れを落としてください。

- 絶対に液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因となります。

主な仕様

すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

PowerShot A550

カメラ部有効画素数	：約 710 万画素
撮像素子	：1/2.5 型 CCD（総画素数 約 740 万画素）
レンズ	：5.8（W）－ 23.2（T）mm （35mm フィルム換算 35（W）－ 140（T）mm） F2.6（W）－ F5.5（T）
デジタルズーム	：静止画 / 動画：約 4.0 倍（光学ズームと合わせて最大約 16 倍）
光学ファインダー	：実像式ズームファインダー
液晶モニター	：2.0 型低温ポリシリコン TFT 液晶カラーモニター 約 8.6 万画素、視野率 100%
AF 方式	：TTL オートフォーカス AF ロック可能 測距枠：9 点（AiAF） / 1 点（AF） （1 点時の測距枠：中央固定）
撮影距離 （レンズ先端より）	：通常撮影：45cm ～∞ マクロ撮影：5 ～ 45cm（W）/33 ～ 45cm（T）
シャッター	：メカニカルシャッター ＋ 電子シャッター
シャッタースピード	：15 ～ 1/2000 秒 ・撮影モードによって異なる ・シャッタースピードが 1.3 秒以上のときは、ノイズリダクション処理あり
測光方式	：評価 / 中央部重点平均 / スポット＊ （＊測光枠：中央固定）
露出補正	：± 2 段（1/3 段ステップ）
ISO 感度 （標準出力感度・ 推奨露光指数）	：オート＊、高感度オート＊、ISO 80 / 100 / 200 / 400 / 800 ＊オート、高感度オート設定時は、カメラが最適値に自動設定

（W）：ワイド端 （T）：テレ端

ホワイトバランス	：オート / 太陽光 / くもり / 電球 / 蛍光灯 / 蛍光灯 H / マニュアル
内蔵ストロボ	：オート＊ / 常時発光＊ / 発光禁止 ＊赤目緩和、スローシンクロ設定可能
内蔵ストロボ撮影範囲	：通常撮影：45cm〜3.5m（W）/45cm〜2.2m（T） マクロ撮影：30 〜 45cm（W）/33 〜 45cm（T） （ISO 感度設定：オート）
撮影モード （静止画）	：オート / マニュアル＊ / ポートレート / 風景 / ナイトスナップ / キッズ＆ペット / パーティ / 室内 / スペシャルシーン＊＊ ＊ 長秒時撮影可能 ＊＊ 夜景、新緑 / 紅葉、スノー、ビーチ、打上げ花火
（動画）	：スタンダード、スムーズ、ライト
連続撮影	：約 1.7 画像 / 秒（ラージ・ファインモードのとき）
セルフタイマー	：約 10 秒後 / 約 2 秒後 / カスタム
記録媒体	：SD メモリーカード /SDHC メモリーカード / マルチメディアカード
ファイルフォーマット	：DCF 準拠＊、DPOF 対応 ＊DCF は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で、主として DSC 等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
データタイプ （静止画）	：Exif 2.2（JPEG）＊ 音声メモ：WAVE（モノラル） ＊このデジタルカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Print は、デジタルカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print 対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいな印刷結果を得ることができます。
（動画）	：AVI（画像データ：Motion JPEG 、音声データ：WAVE（モノラル））
圧縮率	：スーパーファイン / ファイン / ノーマル

（W）：ワイド端 （T）：テレ端

記録画素数（静止画）	：ラージ　：3072 × 2304 画素 ミドル 1　：2592 × 1944 画素 ミドル 2　：2048 × 1536 画素 ミドル 3　：1600 × 1200 画素 スモール　：640 × 480 画素 L 判プリント：1600 × 1200 画素 ワイド　：3072 × 1728 画素
（動画）	：スタンダード :640×480画素(30フレーム/秒、15フレーム/秒) :320×240画素(30フレーム/秒、15フレーム/秒) メモリーカードの容量がいっぱいになるまで撮影可能* (1 回の最大記録容量:1GB **) スムーズ:320 × 240 画素(60 フレーム / 秒) 1 回の最長記録時間:1 分 ライト:160 × 120 画素（15 フレーム / 秒） 1 回の最長記録時間:3 分 *：超高速のメモリーカード使用時(推奨メモリーカード:SDC-512MSH) **：記録容量が 1GB に達していなくても、撮影時間が 1 時間に達した時点で記録を停止します。メモリーカードの容量、データ書き込み速度により、1GB または 1 時間に満たなくても記録を停止する場合があります。
再生モード	：シングル再生(ヒストグラム表示可能) / インデックス再生(サムネイル 9 画像) / 拡大再生(液晶モニター上で最大約10倍に拡大可能、拡大した状態で画像送りが可能) / ジャンプ(10 枚ごと、100 枚ごと、各撮影日の先頭画像、動画、各フォルダの先頭画像にジャンプが可能。インデックス再生時は、9 画像ごとに再生) / オートプレイ / 音声メモ(最長 1 分まで記録 / 再生が可能) / 動画再生(スロー再生可能)
ダイレクトプリント方式	：PictBridge / CP ダイレクト / Bubble Jet ダイレクト対応
インターフェース	：USB 2.0 Hi-Speed(mini-B)、 映像 / 音声出力端子(NTSC または PAL 切換可能、モノラル音声)
通信プロトコル設定	：MTP、PTP

電源	：単３形アルカリ電池（付属） 単３形充電式ニッケル水素電池（NB4-300）（別売）、AC アダプターキット ACK800（別売）
動作温度	：0 〜 40 ℃（NB4-300 使用時は 0 〜 35 ℃）
動作湿度	：10 〜 90%
大きさ（突起部を除く）	：91.2 × 64.0 × 43.1mm
質量（本体のみ）	：約 160g

電池性能について

	撮影画像数		再生時間
	液晶モニター表示時（CIPA測定法準拠）	液晶モニター非表示時	
単３形アルカリ電池（付属品）	約 140 画像	約 1000 画像	約 9 時間
単３形ニッケル水素電池（NB-3AH（フル充電））	約 550 画像	約 1400 画像	約 11 時間

- 撮影画像数は、撮影状況、撮影モードなどにより異なります。
- 動画データは除きます。
- 使用環境温度が下がると、電池の性能が低下したり、バッテリーアイコンが早めに表示されることがあります。このような場合は、使用直前までポケットなどに入れて温めてから使用すると、電池の性能が回復することがあります。

＜測定条件＞

撮影：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）で、２回に１回ストロボを発光させながら、30 秒間隔でワイド端とテレ端で交互に撮影し、10 画像撮影後に電源切。十分な時間*が経過した後、再び電源を入れて同様の方法で撮影を繰り返す。
・キヤノンブランドのメモリーカードを使用
＊電池の温度が常温に戻るまでの時間

再生：常温（23 ± 2 ℃）・常湿（50 ± 20%）の環境において、1 画像あたり 3 秒間隔で連続再生。

● 電池の取り扱いについて（p. 85）

メモリーカードの種類と記録可能画像数 / 時間（目安）

□: 付属のメモリーカード

記録画素数	圧縮率	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
L（ラージ）3072 × 2304 画素	S	4	40	156
	◢	7	64	251
	▟	16	134	520
M1（ミドル 1）2592 × 1944 画素	S	5	49	190
	◢	10	87	339
	▟	21	173	671
M2（ミドル 2）2048 × 1536 画素	S	9	76	295
	◢	16	136	529
	▟	33	269	1041
M3（ミドル 3）1600 × 1200 画素	S	14	121	471
	◢	26	217	839
	▟	50	411	1590
S（スモール）640 × 480 画素	S	56	460	1777
	◢	88	711	2747
	▟	138	1118	4317
（L 判プリント）1600 × 1200 画素	◢	26	217	839
W（ワイド）3072 × 1728 画素	S	6	53	207
	◢	10	86	335
	▟	21	177	686

・■ ：スムーズ連写（p. 30）できます（物理フォーマット時）。
・当社測定条件によるもので、被写体、撮影条件などにより変わります。

動画

□: 付属のメモリーカード

	記録画素数	フレームレート	16MB	SDC-128M	SDC-512MSH
スタンダード	640×480画素	30	7秒	1分4秒	4分9秒
		15	15秒	2分7秒	8分14秒
	320×240画素	30	22秒	3分1秒	11分42秒
		15	43秒	5分55秒	22分53秒
スムーズ	320×240画素	60	11秒	1分32秒	5分59秒
ライト	160×120画素	15	1分47秒	14分29秒	55分57秒

＊動画の1回の最長記録時間は（スムーズ）：1分、（ライト）：3分です。表中の数値は、繰り返し撮影した場合の最大記録可能時間です。

1画像の容量（目安）

記録画素数		圧縮率		
		S	F	N
L	3072 × 2304 画素	3045KB	1897KB	902KB
M1	2592 × 1944 画素	2503KB	1395KB	695KB
M2	2048 × 1536 画素	1602KB	893KB	445KB
M3	1600 × 1200 画素	1002KB	558KB	278KB
S	640 × 480 画素	249KB	150KB	84KB
（ポストカード）	1600 × 1200 画素	−	558KB	−
W	3072 × 1728 画素	2304KB	1420KB	678KB

付録

	記録画素数	フレームレート	容量
スタンダード	640 × 480 画素	30	1920KB/ 秒
		15	960KB/ 秒
	320 × 240 画素	30	660KB/ 秒
		15	330KB/ 秒
スムーズ	320 × 240 画素	60	1320KB/ 秒
ライト	160 × 120 画素	15	120KB/ 秒

マルチメディアカード

インターフェース	マルチメディアカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 1.4mm
質量	約 1.5g

SD メモリーカード

インターフェース	SD メモリーカード規格準拠インターフェース
大きさ	32.0 × 24.0 × 2.1mm
質量	約 2g

ニッケル水素電池 NB-3AH

（別売のニッケル水素電池パック NB4-300 またはバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

形式	単３形充電式ニッケル水素電池
公称電圧	DC1.2V
公称容量	2500mAh（最小：2300mAh）
充放電回数	約 300 回（目安）
動作温度	0 ～ 35 ℃
直径×長さ	14.5 × 50.0mm
質量	約 30g

バッテリーチャージャー CB-5AH

（別売のバッテリー / チャージャーキット CBK4-300 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	565mA ＊1、1275mA ＊2
充電時間	約 4 時間 40 分＊1、約 2 時間＊2
動作温度	0 ～ 35 ℃
大きさ	65.0 × 105.0 × 27.5mm
質量（本体のみ）	約 95 g

＊ 1 NB-3AH 4 本の充電時
＊ 2 NB-3AH 2 本をバッテリーチャージャーの両端にセットしたときの充電時

コンパクトパワーアダプター CA-PS800

（別売の AC アダプターキット ACK800 に付属）

定格入力	AC100 ～ 240V（50/60Hz）
定格出力	DC3.15V、2.0A
使用温度	0 ～ 40 ℃
大きさ	42.6 × 104.0 × 31.4mm
質量	約 180g（電源コードを除く）

CANON iMAGE GATEWAYを利用する

CANON iMAGE GATEWAY は、キヤノンのデジタルカメラを購入された方がお使いになれるオンラインフォトサービスです。オンラインで会員登録（無料）されると、いろいろなサービスがご利用いただけます。

- **バージョンアップなど、サポート情報の電子メール配信サービス**
- **オンラインアルバムサービス**
- **携帯電話アルバム通知・閲覧サービス**
- **ホームプリンティングサービス**
- **プリント注文サービス（有料）**
- **オリジナル写真集（フォトブック）作成サービス（有料）**
- **マイカメラコンテンツのダウンロード**

http://www.imagegateway.net/

- 最新のサービス内容は、上記のサイトでご確認いただけます。
- 会員登録方法は、上記のサイト、またはソフトウェアクイックガイドでご確認いただけます。

＊インターネットに接続できる環境（プロバイダとの契約やブラウザソフトのインストール、各種回線接続が完了済み）が必要です。

＊プロバイダとの接続料金、およびプロバイダのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

索引

「基」は基本編の略です。

数字 / アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。カメラユーザーガイド（本書）に従って正しい取り扱いをしてください。

①本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
②本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
③本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。連絡先は、本書巻末に記載してあります。
④このカメラを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

・DCF は、(社)電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
・DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
・Windows、Windows Vista、Windows Vista ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Microsoft Corporation の商標です。
・Macintosh、Mac ロゴ、QuickTime、QuickTime ロゴは、アメリカ合衆国およびその他の国で登録されている Apple Computer, Inc. の商標です。
・SDHC ロゴは商標です。

各撮影モードで設定できる機能一覧

各撮影モードで設定できる機能は、以下のとおりです。

機能			AUTO		SCN		M	参照ページ
記録画素数(静止画)	ラージ	L	●	●	●	–	●	p. 26
	ミドル1	M1	○	○	○	–	○	
	ミドル2	M2	○	○	○	–	○	
	ミドル3	M3	○	○	○	–	○	
	スモール	S	○	○	○	–	○	
	L判プリント		○	○	○	–	○	
	ワイド	W	○	○	○	–	○	
記録画素数(動画)			–	–	–	○(1)	–	p. 36
圧縮率	スーパーファイン		○	○	○	–	○	p. 27
	ファイン		●	●	●	–	●	
	ノーマル		○	○	○	–	○	
フレームレート(動画)			–	–	–	○(1)	–	p. 36
ストロボ(3)	オート		○	○	○	–	○(2)	基本編 p. 14
	常時発光		–	○	○	–	○	
	発光禁止		○	○	○	–	○	
赤目緩和			●	●	●(4)	–	●	基本編 p. 15
スローシンクロ			–	–(5)	–(6)	–	○(2)	基本編 p. 15
マクロ撮影			○	○(7)	○(4)	○	○	基本編 p. 16

機能		AUTO		SCN		M	参照ページ
ドライブモード	一画像撮影	●	●	●	●	●	–
	連続撮影	–	○	○	–	○	p. 30
	10秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	基本編 p. 17
	2秒セルフタイマー	○	○	○	○	○	
	カスタム	○	○	○	–	○	
日付写し込み		○	○	○	–	○	p. 31
AF方式の選択		○	○	○[4]	–	○	p. 36
AFロック		–	–	–	○	○	p. 38
AF補助光		●	●	●[4]	●	●	p. 21
デジタルズーム		●	●	●	●[8]	●	p. 27
デジタルテレコン		○	○	○	–	○	p. 27
露出補正		–	○	○	–	○[2]	p. 41
ISO感度		○[9]	–[10]	–[10]	–[10]	○[11]	p. 48
ホワイトバランス[12]		–[10]	–[10]	–[10]	○	○	p. 43
長秒時撮影		–	–	–	–	○	p. 42
測光方式	評価測光	●	●	●	●	●	p. 40
	中央部重点平均測光	–	–	–	–	○[2]	
	スポット測光	–	–	–	–	○[2]	
AEロック撮影 FEロック撮影		–	–	–	–	○[2]	p. 39 p. 40
マイカラー		–	–	–	○	○	p. 46
撮影ガイド		○	○	○	○[13]	○	p. 32
縦横自動回転		●	●	●	–	●	p. 49

○：設定可（●：初期設定）　–：設定不可

・　　：電源を切っても記憶します。

・［日付 / 時刻］、［言語］、［ビデオ方式］以外のメニュー設定と、ボタン操作によるカメラの設定を、一度にすべて初期設定に戻せます（p. 24）。

(1) 🎥(動画)の記録画素数とフレームレートについて(p. 36)。
(2) 長秒時のときは設定できません。
(3) 初期設定は、AUTO SCN( ):[オート]、
SCN( ) M:[発光禁止]になります。
・ではストロボは設定できません。
(4) では設定できません。
(5) 、では[入]固定となります([切]は設定できません)。
(6) では[入]固定となります([切]は設定できません)。
(7) 、では設定できません。
(8) のみ操作ができます。
(9) との切り換えのみできます。
(10) カメラが自動的に設定します。
(11) 長秒時撮影のとき、、は設定できません。
(12) マイカラーが[セピア]、[白黒]のときは設定できません
(13) グリッドラインのみ設定できます。